

あま市障がい福祉計画及びあま市障がい児福祉計画
策定に係る実態調査 調査結果概要版

令和2年9月

あま市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	2
II	調査結果	3
1	障害者手帳所持者アンケート調査	3
	(1) 調査対象者の属性	3
	(2) 障がいの状況について	10
	(3) 住まいや暮らしについて	12
	(4) 日中活動や就労について	15
	(5) 相談相手・情報収集について	18
	(7) 権利擁護・障がい者差別解消について	23
	(8) 災害時の避難等について	26
	(9) 暮らしやすさや将来の生活について	26
	(10) 教育について	28
	(11) 新型コロナウイルス感染症について	29
2	サービス事業者調査	31

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、あま市障がい福祉計画・障がい児福祉計画を策定するため、本市に居住する障がいのある方（身体・知的・精神）の日常生活などの現状や福祉サービスに対するニーズなどを把握することを目的に実施しました。

2 調査設計

	障がいのある人への調査	サービス事業者への調査
(1) 調査地域	あま市全域	あま市内及び近隣市町
(2) 調査対象	市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳所持者並びに障害福祉サービス及び地域生活支援事業受給者証保持者（抽出）	市内及び近隣市町に所在する障害福祉サービス等事業者
(3) 対象者数	2,000 人	96 件
(4) 抽出方法	無作為抽出調査	全数調査
(5) 調査方法	郵送配布・回収	郵送配布・回収
(6) 調査時期	令和2年8月	令和2年8月

3 回収結果

	配布数 A	回収数 B		
			有効回収数 C	有効回収率 C/A
障がいのある人への調査	2,000	958	955	47.8%
サービス事業者への調査	96	67	67	69.8%

※有効回収数は、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数。

4 報告書の見方

- (1)比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が100%にならないこともあります。
- (2)回答率(%)は、その質問の回答者数を母数として算出しました。
- (3)基数となるべき実数は、件数または調査数として掲載しました。比率は、この件数を100%として算出しています。
- (4)複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数(票数)とし、その項目を選び○印をつけた人が全体からみて何%なのかという見方をしました。そのため、各項目の比率の合計は100%を超える場合があります。
- (5)本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。

Ⅱ 調査結果

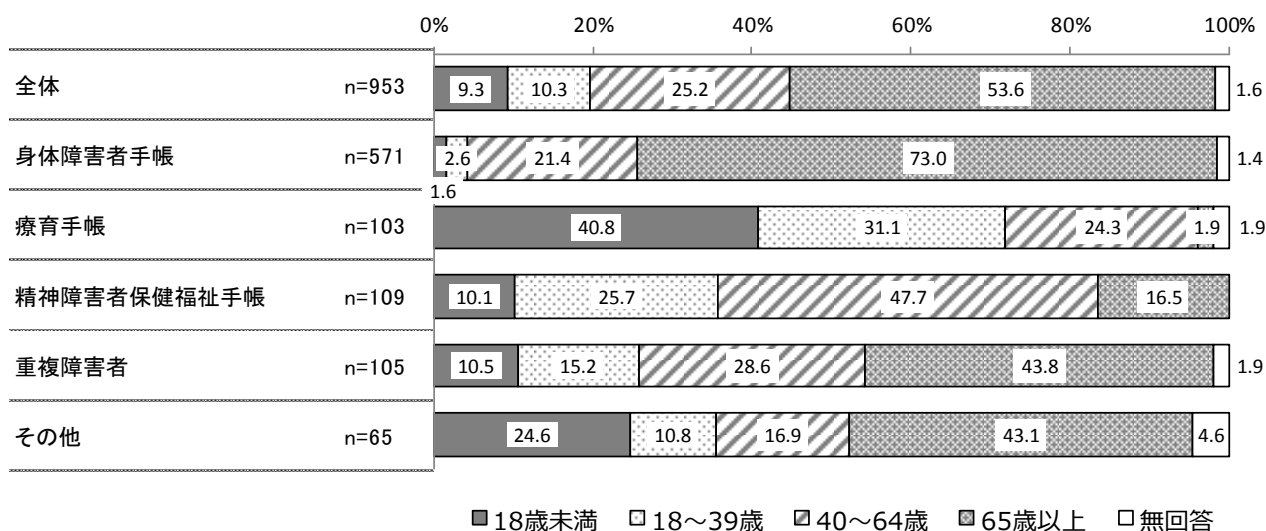
1 障害者手帳所持者アンケート調査

(1) 調査対象者の属性

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和2年4月1日現在)

回答者の年齢の内訳は、「65歳以上」が53.6%と最も多く、次いで、「40～64歳」が25.2%、「18～39歳」が10.3%、「18歳未満」が9.3%となっています。

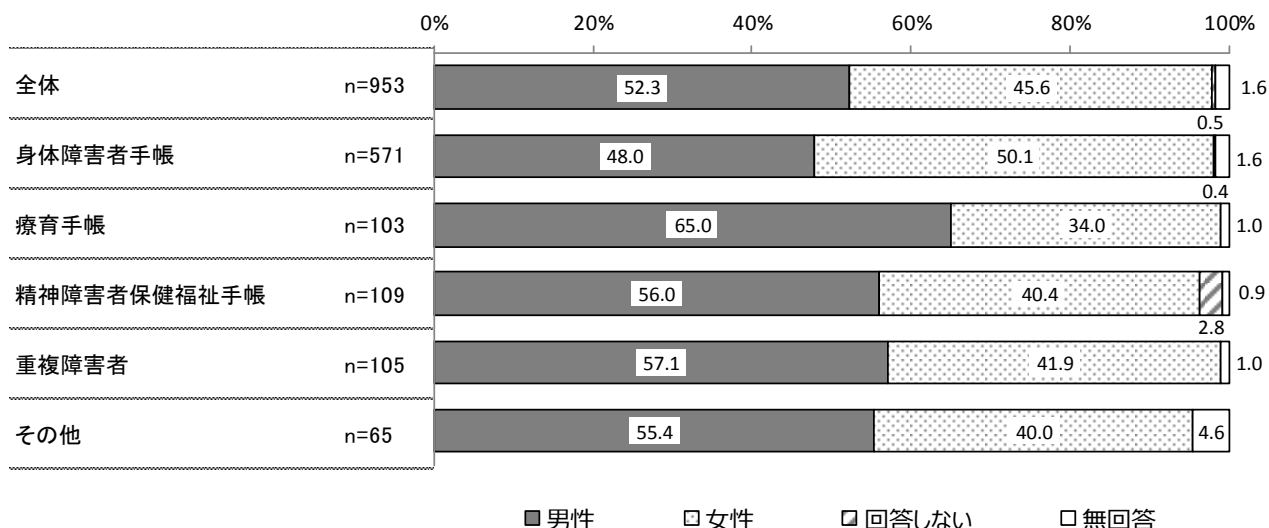
障がい別で見ると、身体障害者手帳では「65歳以上」が約7割（73.0%）を占めています。療育手帳では40歳未満が約7割（71.9%）を占めています。精神障害者保健福祉手帳では18～64歳で約7割（73.2%）を占めています。



問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

回答者の性別は、「男性」が52.3%、「女性」が45.6%となっています。

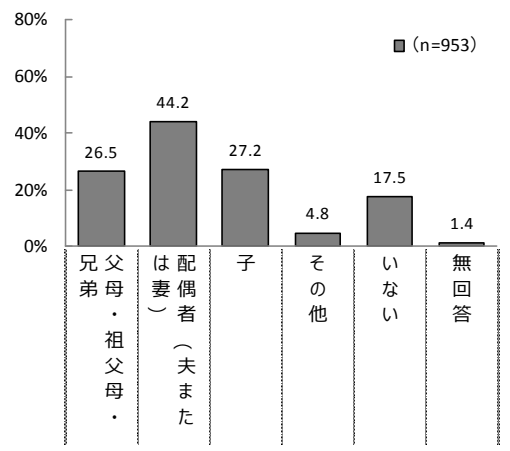
障がい別で見ると、「療育手帳」では男性の占める割合が65.0%と他の障がいに比べて高くなっています。



問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

一緒に暮らしている人については、「配偶者（夫または妻）」が44.2%と最も多く、次いで「子」が27.2%、「父母・祖父母・兄弟」が26.5%となっています。

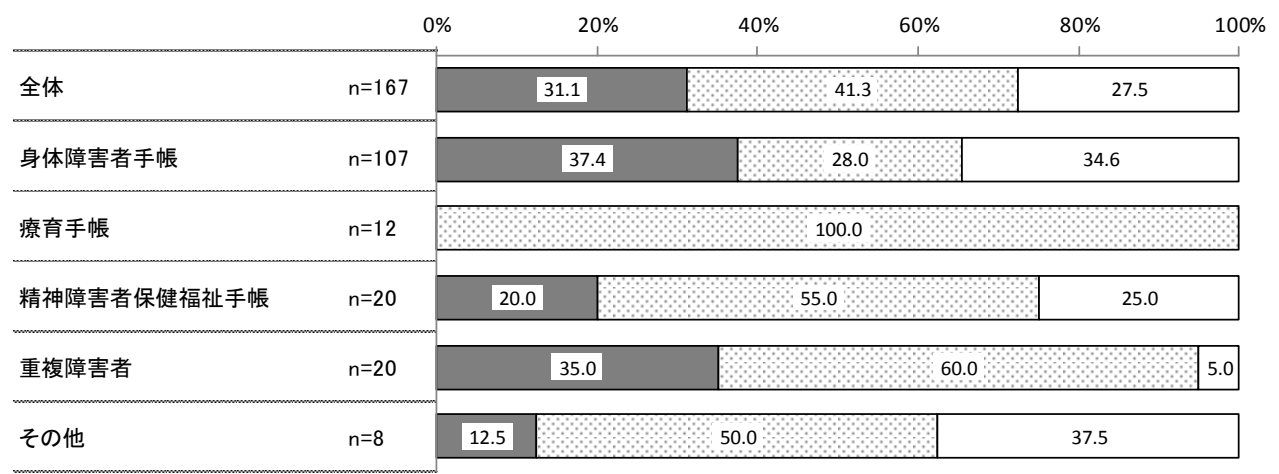
障がい別でみると、身体障害者手帳では「配偶者（夫または妻）」、その他の障がいでは、「父母・祖父母・兄弟」が多くなっています。



		調査数	問5 一緒に暮らしている人					無回答
			父母・祖父母・兄弟	配偶者（夫または妻）	子	その他	いない	
調査数		953	26.5	44.2	27.2	4.8	17.5	1.4
障 害 別	身体障害者手帳	571	8.8	58.5	36.6	4.7	18.7	1.4
	療育手帳	103	78.6	4.9	5.8	3.9	11.7	1.9
	精神障害者保健福祉手帳	109	54.1	25.7	11.9	4.6	18.3	-
	重複障害者	105	34.3	32.4	17.1	6.7	19.0	1.0
	その他	65	41.5	30.8	20.0	4.6	12.3	3.1

一緒に暮らしている人がいない人については、「一人暮らしのため」が31.1%、「グループホーム、福祉施設等を利用しているため」が41.3%となっています。

障がい別でみると、身体障害者手帳では「一人暮らしのため」、その他の障がいでは「グループホーム、福祉施設等を利用しているため」が多くなっています。

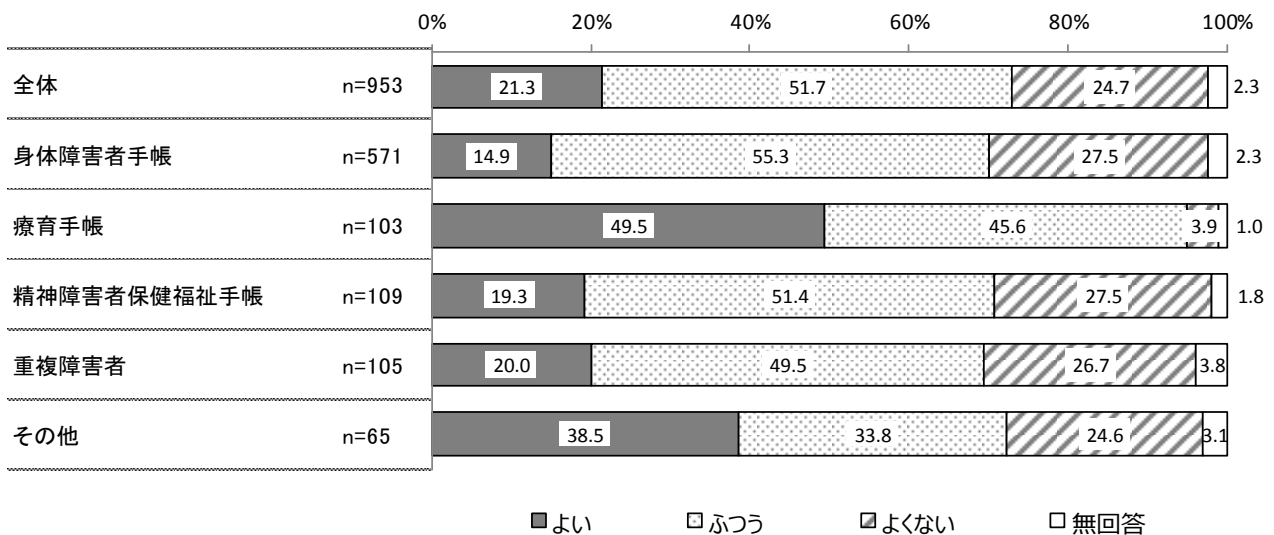


■一人暮らしのため □グループホーム、福祉施設等を利用しているため □無回答

問6 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

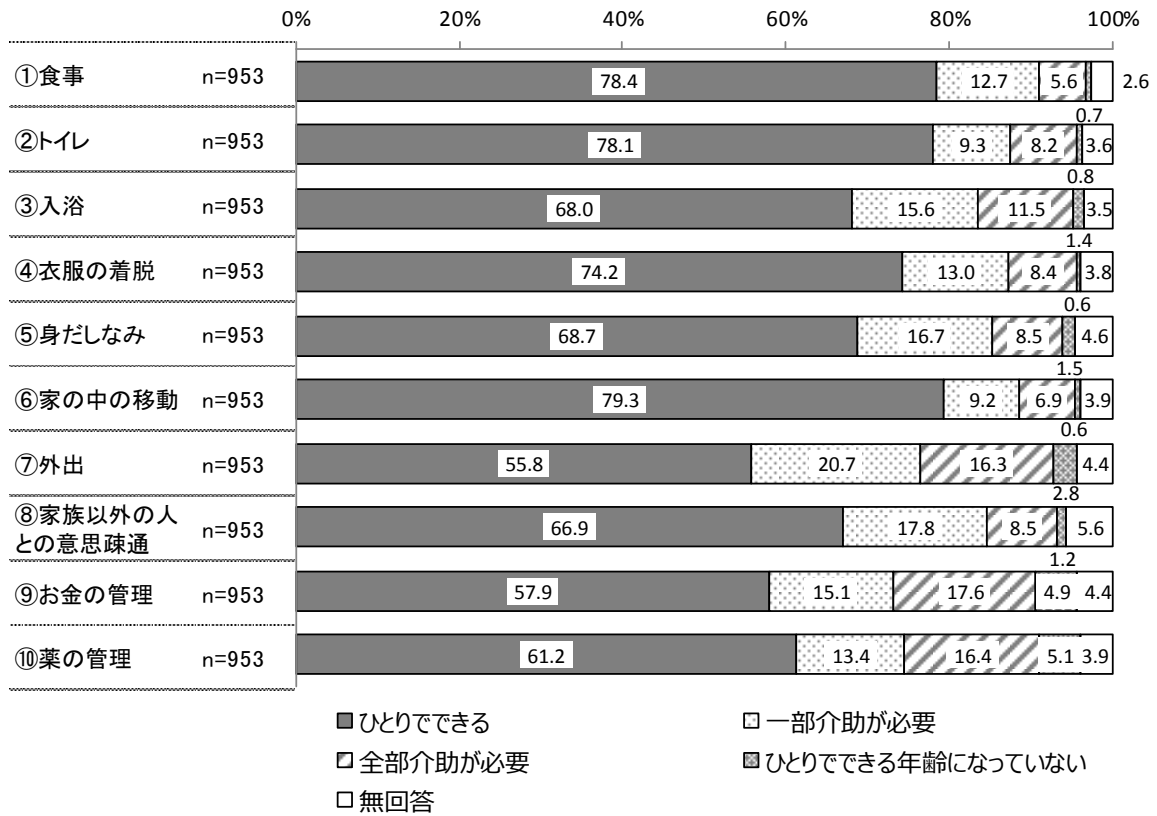
現在の健康状態については、「ふつう」が 51.7%と最も多くなっています。また、「よい」と回答した人は 21.3%となっているのに対し、「よくない」と回答した人は 24.7%となっています。

障がい別で見ると、療育手帳では「よい」が 49.5%と、「よくない」(3.9%)を大きく上回っています。その他の障がいでは「よくない」と回答した人が多くなっています。



問7 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つ)

障がい者の日常生活動作の介助の必要性については、「⑦外出」「⑨お金の管理」「⑩薬の管理」などで、介助を必要とする人が多くなっています。

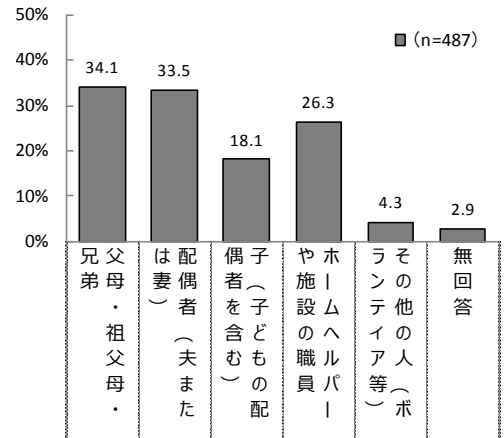


<問7で「2 一部介助が必要」、「3 全部介助が必要」又は「4 ひとりのできる年齢になっていない」と答えた方>

問8 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

家族のなかで主に介助している方については、「父母・祖父母・兄弟」が 34.1%と最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」が 33.5%となっています。

障がい別でみると、身体障害者手帳では「配偶者（夫または妻）」が最も多くなっています。その他の障がいでは「父母・祖父母・兄弟」が最も多くなっています。



		調査数	問8 介助者					無回答
			父母・祖父母・兄弟	配偶者（夫または妻）	子（子どもの配偶者を含む）	ホームヘルパーや施設の職員	その他の人（ボランティア等）	
調査数		487	34.1	33.5	18.1	26.3	4.3	2.9
障 害 別	身体障害者手帳	236	7.6	50.4	30.9	28.8	4.2	1.7
	療育手帳	89	80.9	-	2.2	24.7	4.5	2.2
	精神障害者保健福祉手帳	65	47.7	30.8	4.6	16.9	6.2	4.6
	重複障害者	67	46.3	26.9	10.4	28.4	4.5	4.5
	その他	30	46.7	20.0	10.0	26.7	-	6.7

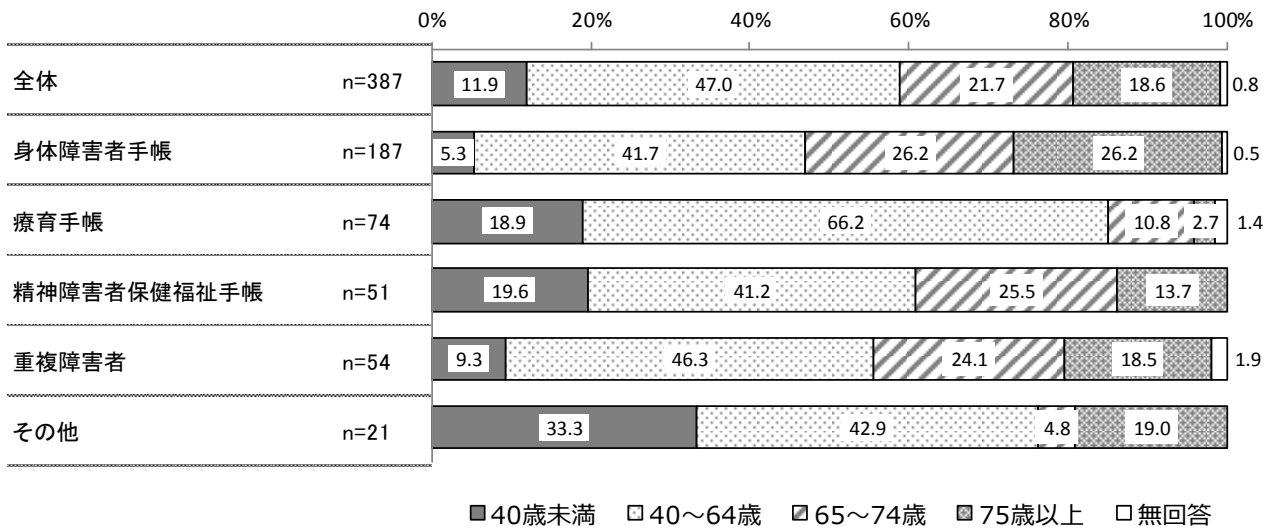
<問8で「1 父母・祖父母・兄弟姉妹」～「3 子（子どもの配偶者を含む）」と答えた方>

問9 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態、悩み等をお答えください。

①年齢

主に介助している方の年齢については、「40～64歳」が47.0%と最も多く、次いで「65～74歳」が21.7%となっています。

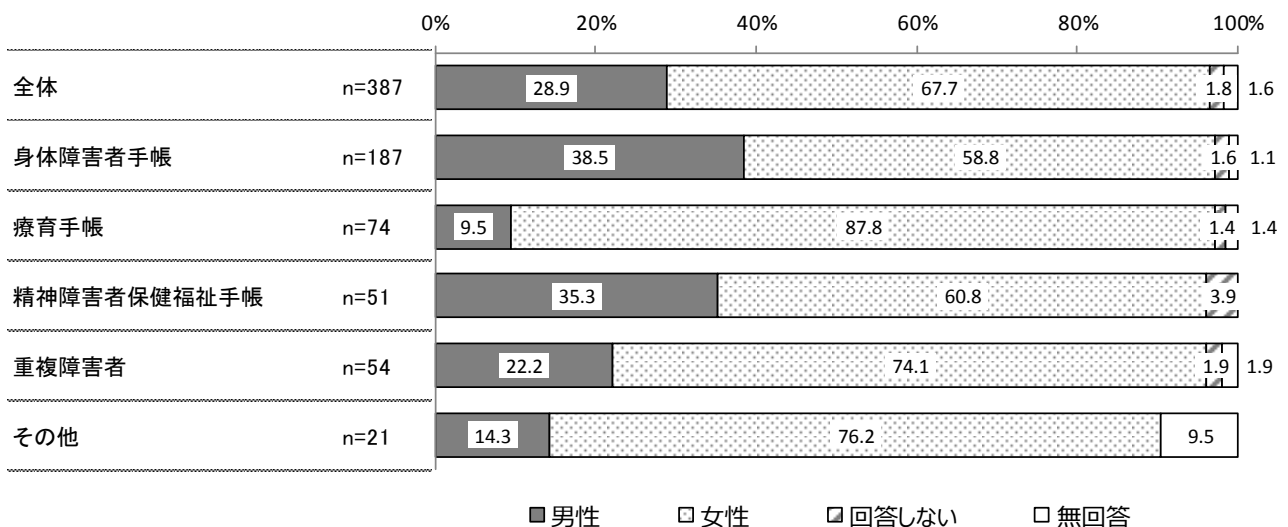
障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「40～64歳」が最も多くなっています。



②性別

主に介助している方の性別については、「男性」が28.9%、「女性」が67.7%となっており、女性の介助者が多くなっています。

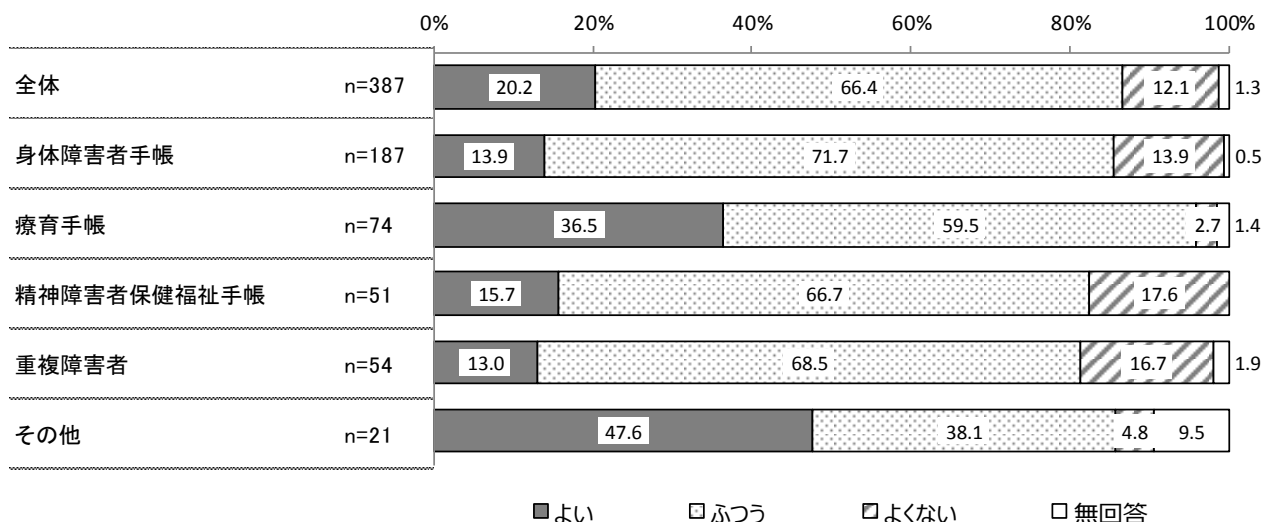
障がい別でみると、療育手帳では「女性」が87.8%と多くなっています



③ 介助者の健康状態

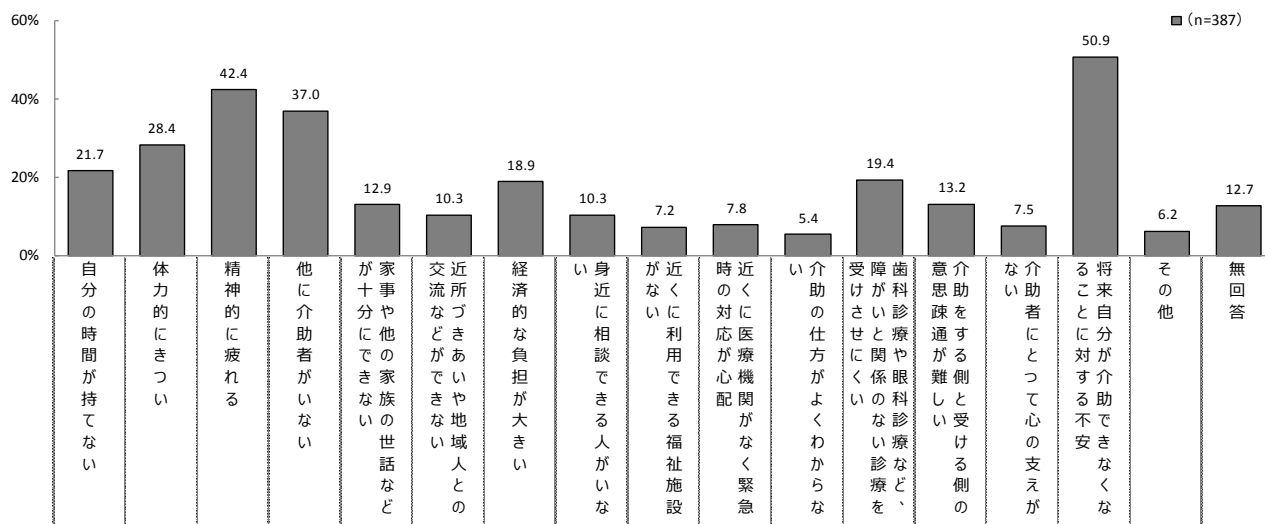
主に介助している方の健康状態については、「ふつう」が 66.4%と最も多くなっています。また、「よい」が 20.2%となっているのに対し、「よくない」は 12.1%となっています。

障がい別でみると、「よい」と回答した人は、身体障害者手帳では約 1 割（13.9%）、療育手帳では約 4 割（36.5%）、精神障害者保健福祉手帳、重複障害者では約 1 割となっています。



④ 主な介助者の方が介助する上での悩みや問題は何ですか。

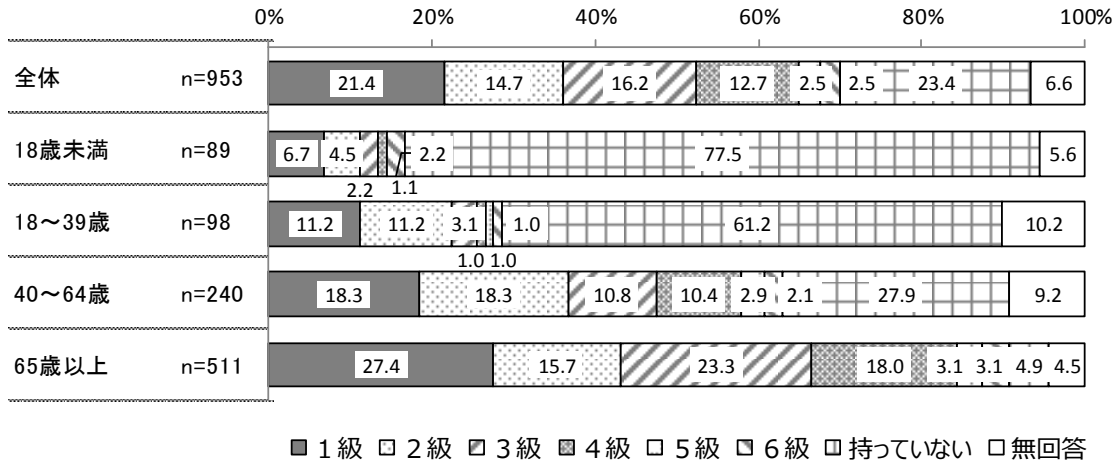
主な介助者の方が介助する上での悩みや問題については、「将来自分が介助できなくなることに対する不安」が 50.9%と最も多く、次いで「精神的に疲れる」が 42.4%、「他に介助者がいない」が 37.0%、「体力的にきつい」が 28.4%となっています。



(2) 障がいの状況について

問10 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

身体障害者手帳の所持については、「持っている」が70.0%、「持っていない」が23.4%となっています。持っている人の等級については「1級」が21.4%と最も多く、次いで「3級」が16.2%、「2級」が14.7%、「4級」が12.7%となっています。

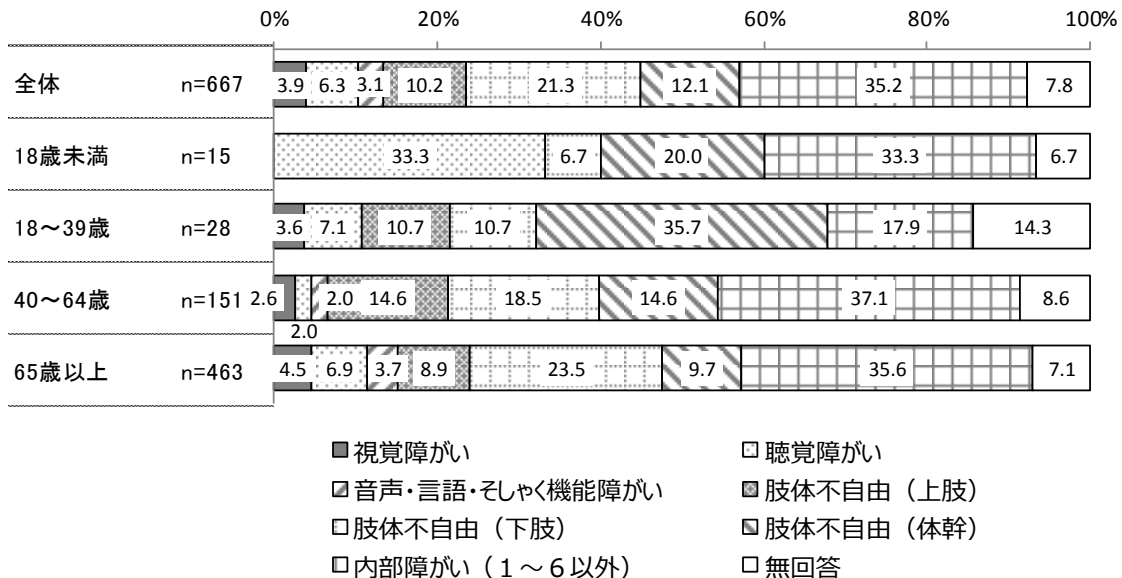


※「持っている」: 全体から「持っていない」と「無回答」を除いた割合

問11 身体障害者手帳をお持ちの場合、障がいの種類をお答えください。(○は1つだけ)

障がいの種類については、「内部障害(1～6以外)」が35.2%と最も多く、次いで「肢体不自由(下肢)」が21.3%、「肢体不自由(体幹)」が12.1%、「肢体不自由(上肢)」が10.2%となっています。

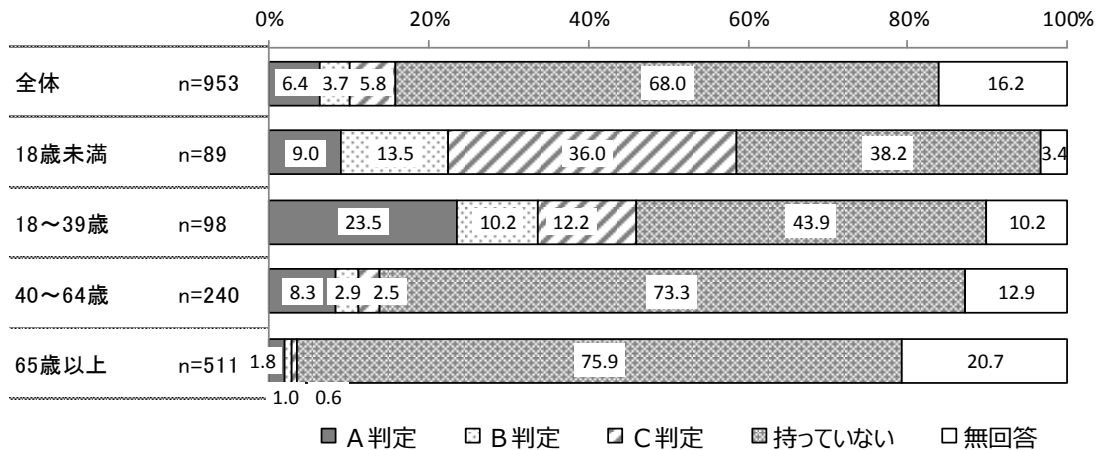
年齢別にみると、40歳以上では「内部障がい(1～6以外)」が最も多く約4割を占めています。また、18～39歳では「肢体不自由(体幹)」が35.7%と最も多くなっています。



問12 あなたは療育手帳をお持ちですか。（〇は1つだけ）

療育手帳については、「持っている」が16.9%、「持っていない」が68.0%となっています。持っている人の等級については「A判定」が6.4%、「B判定」が3.7%、「C判定」が5.8%となっています。

年齢別にみると、18歳未満で「C判定」が36.0%、18～39歳で「A判定」が23.5%と多くなっています。

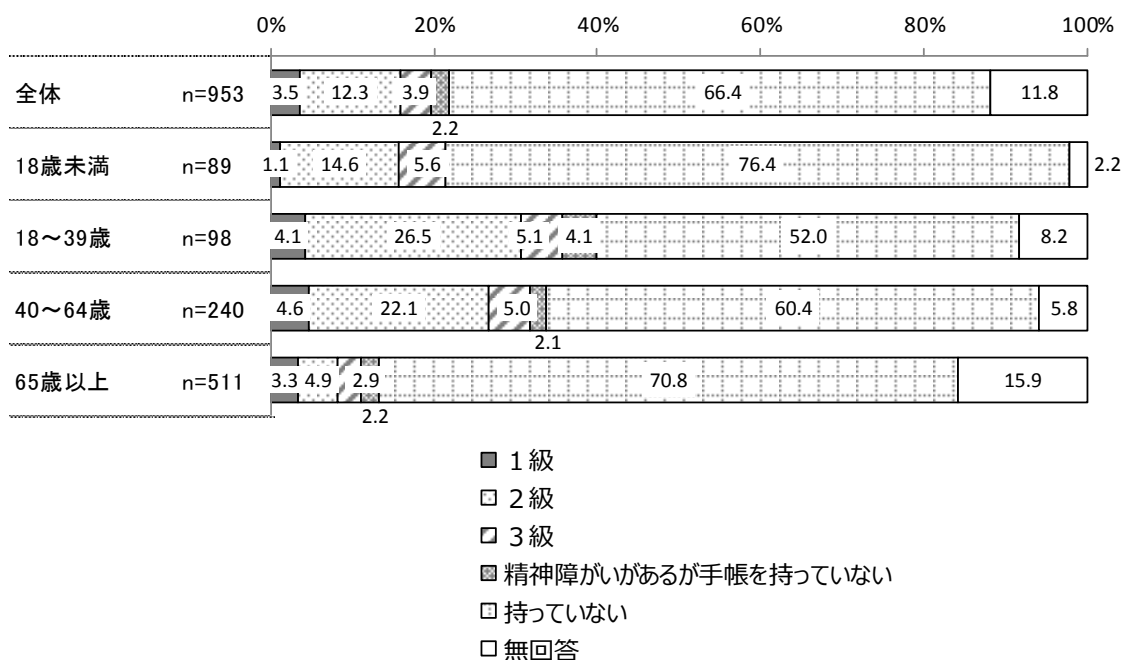


※「持っている」：全体から「持っていない」と「無回答」を除いた割合

問13 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。（〇は1つだけ）

精神障害者保健福祉手帳については、「持っている」が19.7%、「持っていない」が66.4%、「精神障がいがあるが手帳を持っていない」が2.2%となっています。持っている人の等級については「1級」が3.5%、「2級」が12.3%、「3級」が3.9%となっています。

年齢別にみると、18歳未満や18～64歳で「2級」が多くなっています。

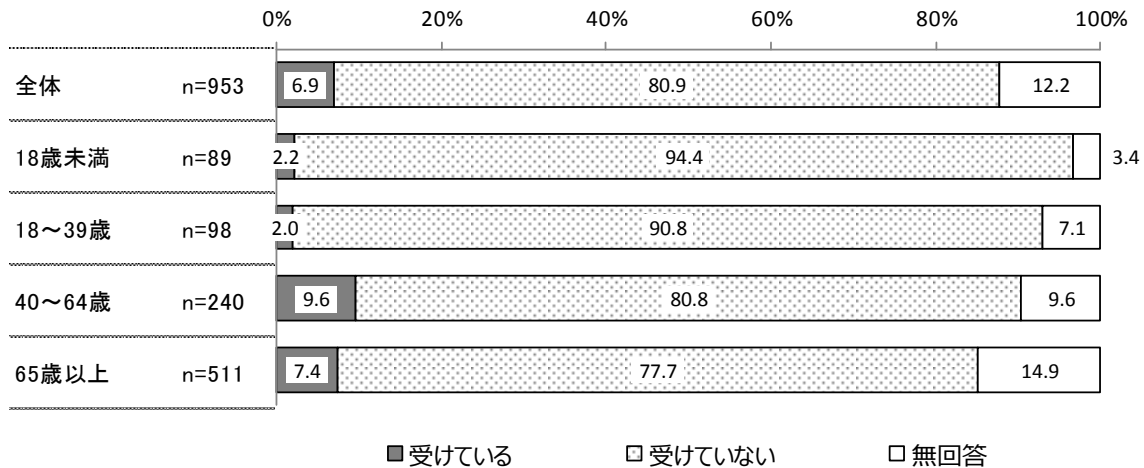


※「持っている」：全体から「精神障がいがあるが手帳を持っていない」「持っていない」と「無回答」を除いた割合

問15 あなたは指定難病の認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

難病の認定については、「受けている」が6.9%、「受けていない」が80.9%となっています。

年齢別で見ると、40歳以上で「受けている」人が全体平均を超えています。

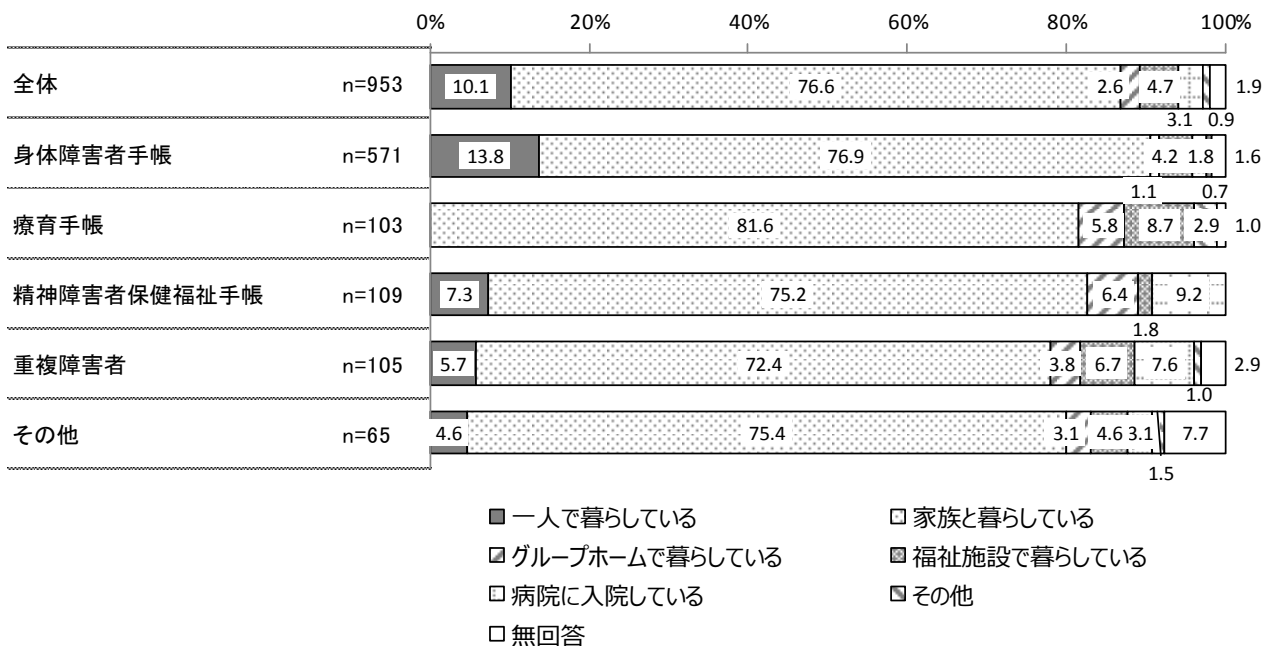


(3) 住まいや暮らしについて

問21 あなたは現在どのように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

現在の暮らしについては、「家族と暮らしている」が76.6%と最も多くなっています。

障がい別で見ると、いずれの障がいにおいても「家族と暮らしている」が7割を超えています。

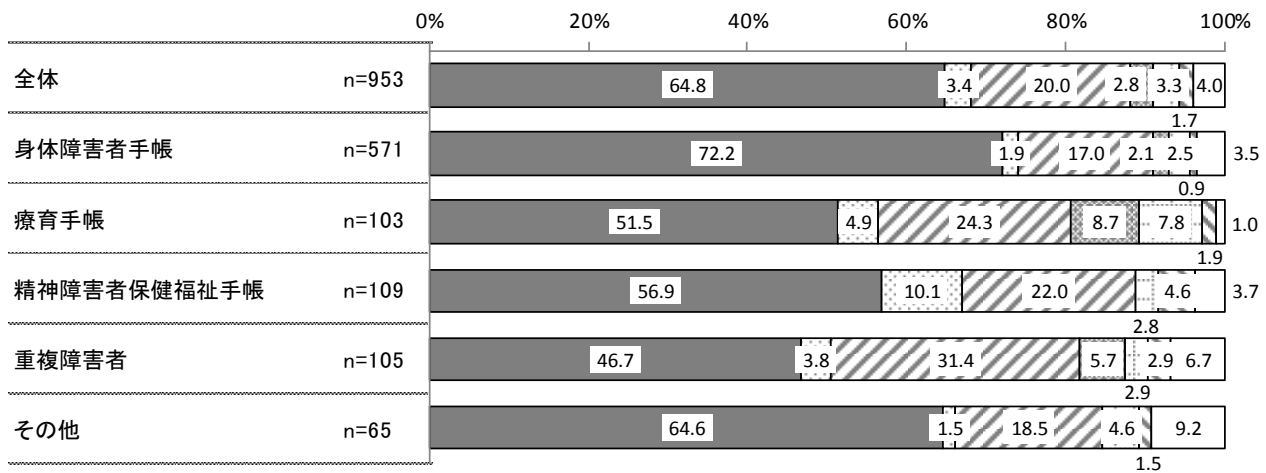


問 22 あなたは今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか。

(○は1つだけ)

今後3年以内に希望する暮らし方については、「現在の暮らしと同様の暮らしをしたい」が64.8%と最も多く、次いで「家族と一緒に生活したい」が20.0%となっています。

障がい別で見ると、いずれの障がいにおいても「現在の暮らしと同様の暮らしをしたい」が最も多くなっており、特に身体障害者手帳では72.2%となっています。

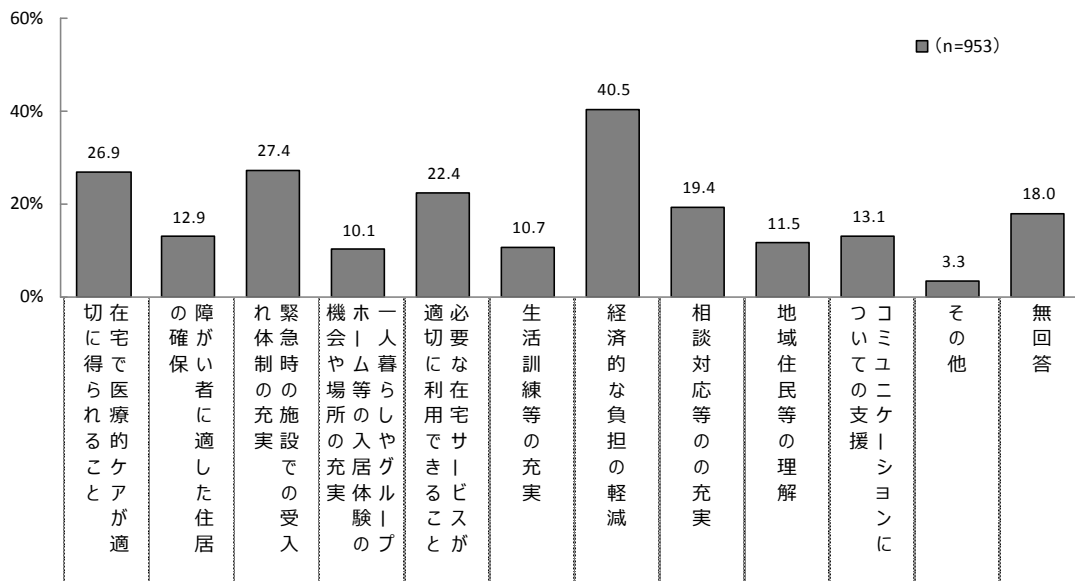


- 現在の暮らしと同様の暮らしをしたい
- 一般の住宅で一人暮らしをしたい
- ▨ 家族と一緒に生活したい
- ▩ グループホームなどを利用したい
- 福祉施設で暮らしたい
- ▨ その他
- 無回答

問23 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

希望する暮らしを送るためには、必要な支援については、「経済的な負担の軽減」が 40.5%と最も多く、次いで、「緊急時の施設での受入れ体制の充実」が 27.4%、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」が 26.9%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が 22.4 となっています。

障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「経済的な負担の軽減」が最も多くなっています。身体障害者手帳や重複障害者では次いで「在宅で医療ケア等が適切に得られること」、療育手帳では「緊急時の施設での受入れ体制の充実」、精神障害者保健福祉手帳では「相談対応等の充実」が多くなっています。



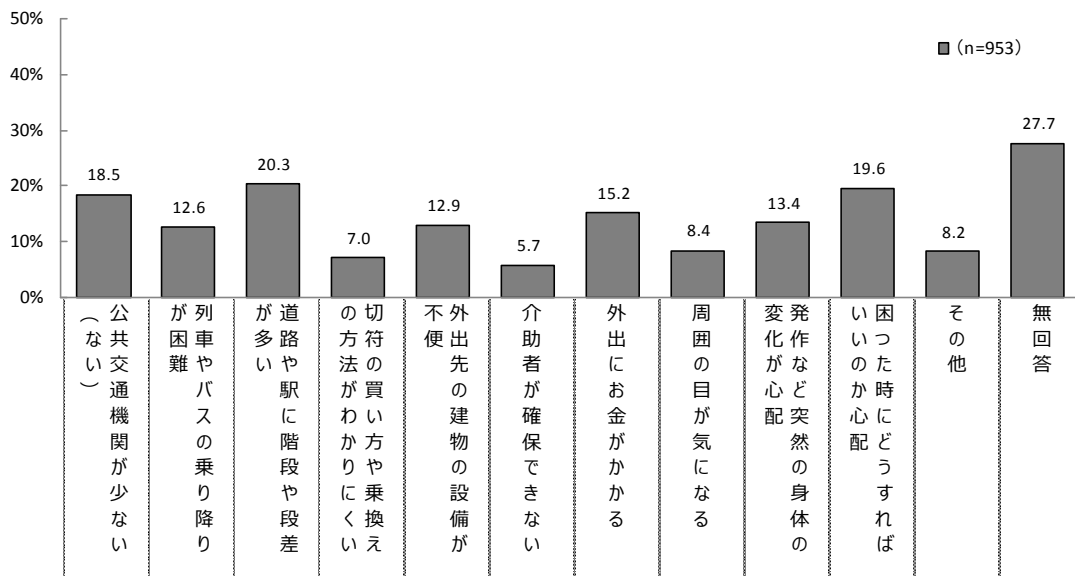
	調査数	問23 希望する暮らしを送るために必要な支援												
		在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること	障がい者に適した住居の確保	緊急時の施設での受入れ体制の充実	一人暮らしやグループホーム等の入居体験の機会や場所の充実	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	コミュニケーションについての支援	その他	無回答	
調査数	953	26.9	12.9	27.4	10.1	22.4	10.7	40.5	19.4	11.5	13.1	3.3	18.0	
障 害 別	身体障害者手帳	571	33.5	12.8	30.3	6.7	27.1	6.5	36.3	14.4	6.5	7.0	3.2	20.5
	療育手帳	103	10.7	17.5	36.9	25.2	11.7	30.1	45.6	31.1	30.1	34.0	3.9	10.7
	精神障害者保健福祉手帳	109	13.8	9.2	15.6	9.2	15.6	12.8	61.5	30.3	19.3	24.8	3.7	11.0
	重複障害者	105	24.8	14.3	22.9	17.1	18.1	11.4	40.0	20.0	12.4	16.2	4.8	16.2
	その他	65	20.0	10.8	13.8	6.2	15.4	12.3	35.4	26.2	12.3	9.2	-	23.1

(4) 日中活動や就労について

問28 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出時に困ることについては、「道路や駅に階段や段差が多い」が 20.3%と最も多く、次いで「困った時にどうすればいいのか心配」が 19.6%、「公共交通機関が少ない(ない)」が 18.5%となっています。

障がい別で見ると、身体障害者手帳では「道路や駅に階段や段差が多い」が 26.6%と最も多く、次いで「公共交通機関が少ない(ない)」が 19.3%となっています。その他の障がいでは「困った時にどうすればいいのか心配」が最も多くなっています。また、療育手帳や精神障害者保健福祉手帳では「周囲の目が気になる」と回答した人も約 2 割程度みられます。

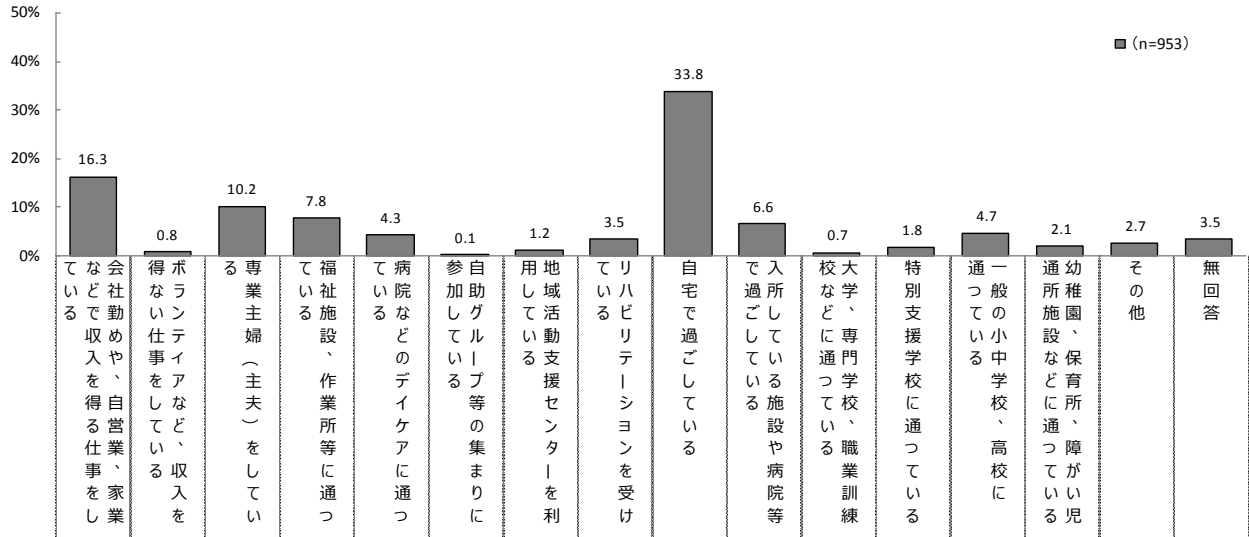


	調査数	問28 外出する際に困ること												
		公共交通機関が少ない(ない)	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	無回答	
調査数	953	18.5	12.6	20.3	7.0	12.9	5.7	15.2	8.4	13.4	19.6	8.2	27.7	
障害別	身体障害者手帳	19.3	14.9	26.6	5.4	14.0	6.0	14.4	4.4	12.6	14.0	9.3	26.4	
	療育手帳	16.5	3.9	2.9	17.5	10.7	6.8	9.7	22.3	7.8	43.7	4.9	25.2	
	精神障害者保健福祉手帳	16.5	6.4	6.4	7.3	3.7	2.8	26.6	18.3	21.1	21.1	8.3	27.5	
	重複障害者	105	20.0	15.2	19.0	8.6	21.0	8.6	15.2	9.5	17.1	24.8	9.5	25.7
	その他	65	15.4	12.3	16.9	1.5	9.2	1.5	12.3	3.1	10.8	20.0	1.5	46.2

問29 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（〇は1つだけ）

平日の主な過ごし方については、「自宅で過ごしている」が 33.8%と最も多く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が 16.3%、「専業主婦（主夫）をしている」が 10.2%となっています。

障がい別で見ると、全体との差が大きいものは、療育手帳で「福祉施設、作業所等に通っている」が 31.1%となっています。

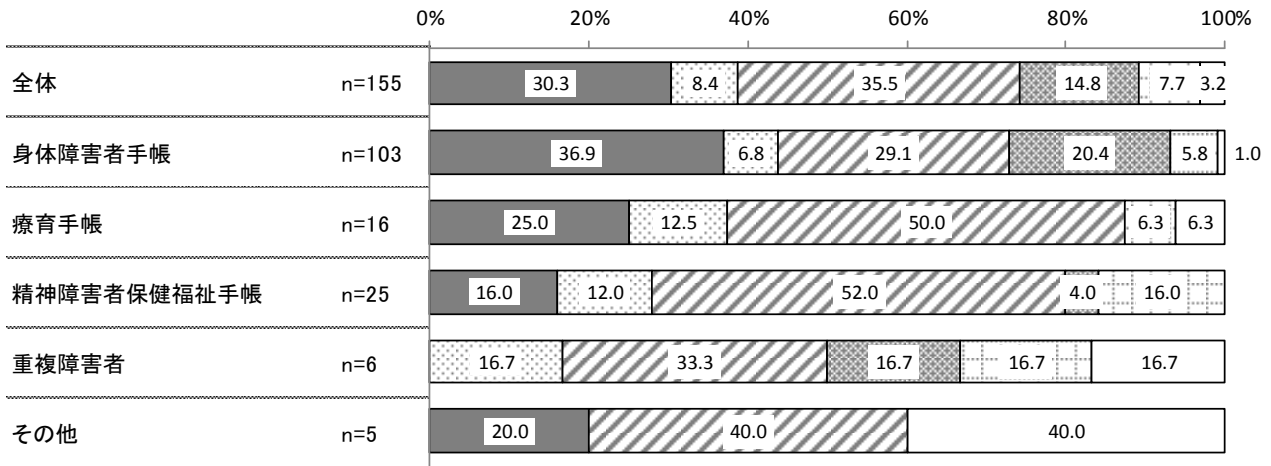


調査数	会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦（主夫）をしている	福祉施設、作業所等に通っている	病院などのデイケアに通っている	自助グループ等の集まりに参加している	地域活動支援センターを利用している	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等で過ごしている	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	特別支援学校に通っている	一般の小中学校、高校に通っている	幼稚園、保育所、障がい児通所施設などに通っている	その他	無回答	
調査数	953	16.3	0.8	10.2	7.8	4.3	0.1	1.2	33.8	6.6	0.7	1.8	4.7	2.1	2.7	3.5	
障 害 別	身体障害者手帳	571	18.0	0.9	13.3	1.9	5.4	0.2	0.5	4.4	5.6	0.5	0.4	0.9	0.4	2.6	3.3
	療育手帳	103	15.5	-	31.1	-	-	-	-	2.9	6.8	1.0	12.6	15.5	11.7	1.0	1.9
	精神障害者保健福祉手帳	109	22.9	0.9	6.4	8.3	2.8	-	5.5	0.9	4.6	-	-	9.2	0.9	3.7	2.8
	重複障害者 その他	105 65	5.7 7.7	- 3.1	7.6 9.2	14.3 10.8	4.8 3.1	-	1.9 -	5.7 1.5	13.3 7.7	1.9 1.5	1.9 -	2.9 16.9	1.0 6.2	1.9 6.2	4.8 6.2

問 30 どのような勤務形態で働いていますか。(〇は1つだけ)

勤務形態については、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が 35.5%と最も多く、次いで「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が 30.3%、「自営業、農林水産業など」が 14.8%となっています。

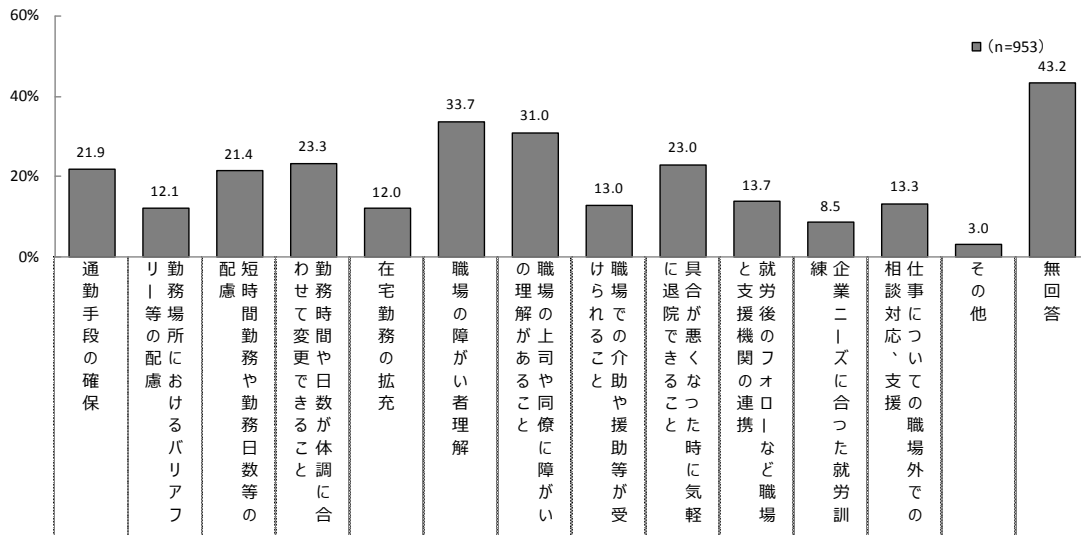
障がい別で見ると、身体障害者手帳では「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が 36.9%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が 29.1%となっています。療育手帳、精神障害者保健福祉手帳では「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が 5 割を超え最も多くなっています。



- 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない
- 正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある
- パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
- 自営業、農林水産業など
- その他
- 無回答

問33 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

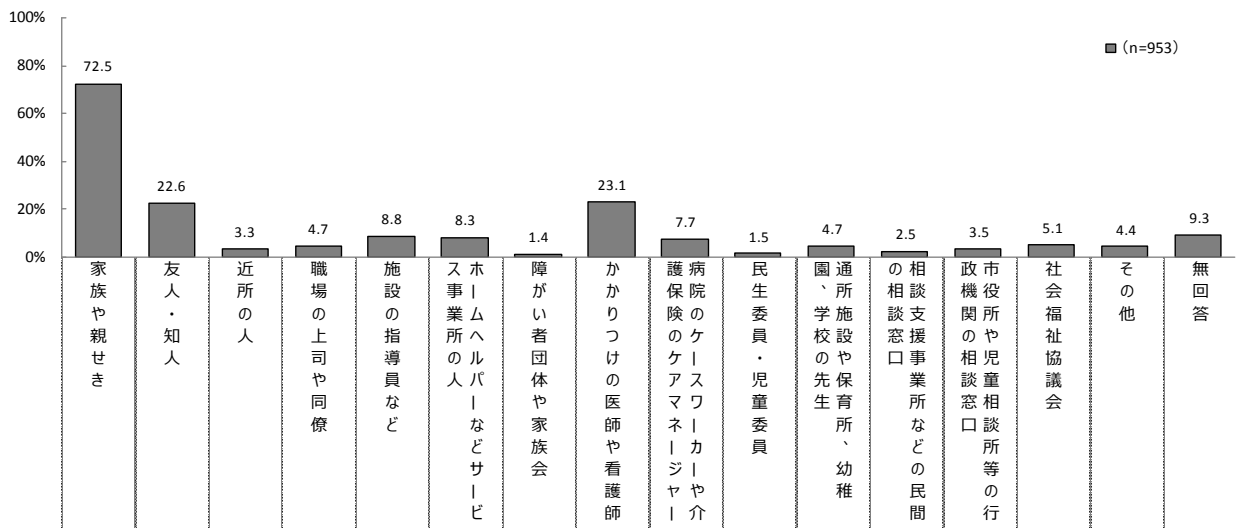
障がい者の就労支援として必要なことについては、「職場の障がい者理解」が 33.7%と最も多く、次いで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が 31.0%、「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」が 23.3%、「具合が悪くなった時に気軽に退院できること」が 23.0%、「通勤手段の確保」が 21.9%、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が 21.4%となっており、障がい者の就労に対するニーズは多岐に渡っています。



(5) 相談相手・情報収集について

問34 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

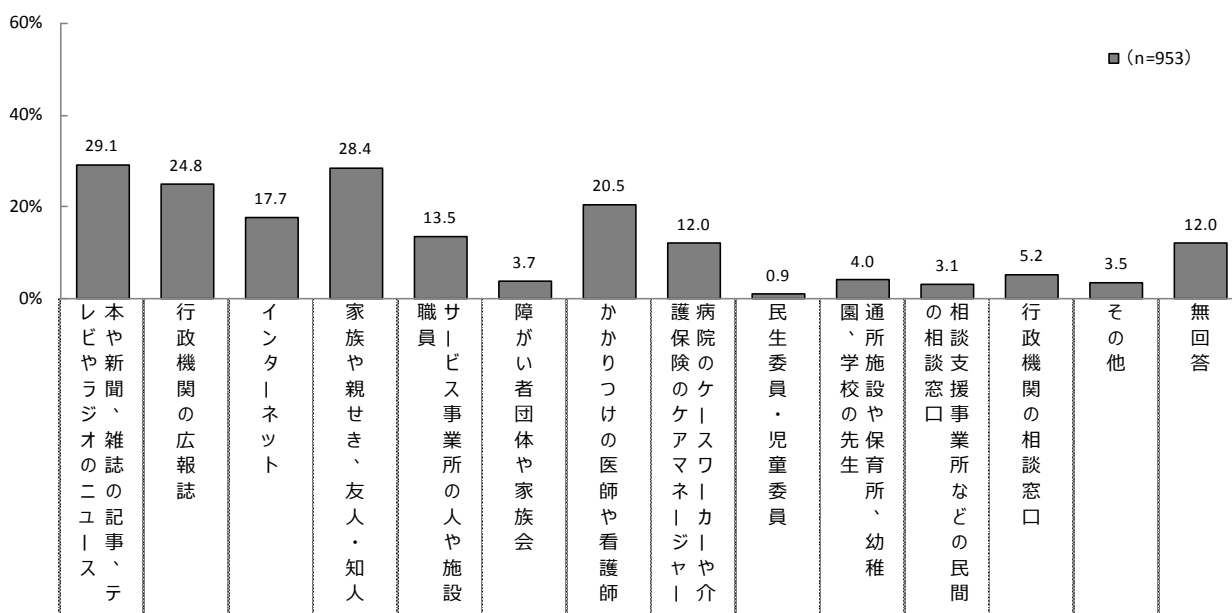
普段、悩みや困ったことの相談者については、「家族や親せき」が 72.5%と最も多く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が 23.1%、「友人・知人」が 22.6%となっています。



問 35 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を知る媒体については、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が 29.1%と最も多く、次いで「家族や親せき、友人・知人」が 28.4%、「行政機関の広報誌」が 24.8%、「かかりつけの医師や看護師」が 20.5%となっています。

障がい別でみると、身体障害者手帳では「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」「行政機関の広報誌」、療育手帳では「家族や親せき、友人・知人」「サービス事業所の人や施設職員」、精神障害者保健福祉手帳では「かかりつけの医師や看護師」「インターネット」、重複障害者では「家族や親せき、友人・知人」「かかりつけの医師や看護師」があげられています。



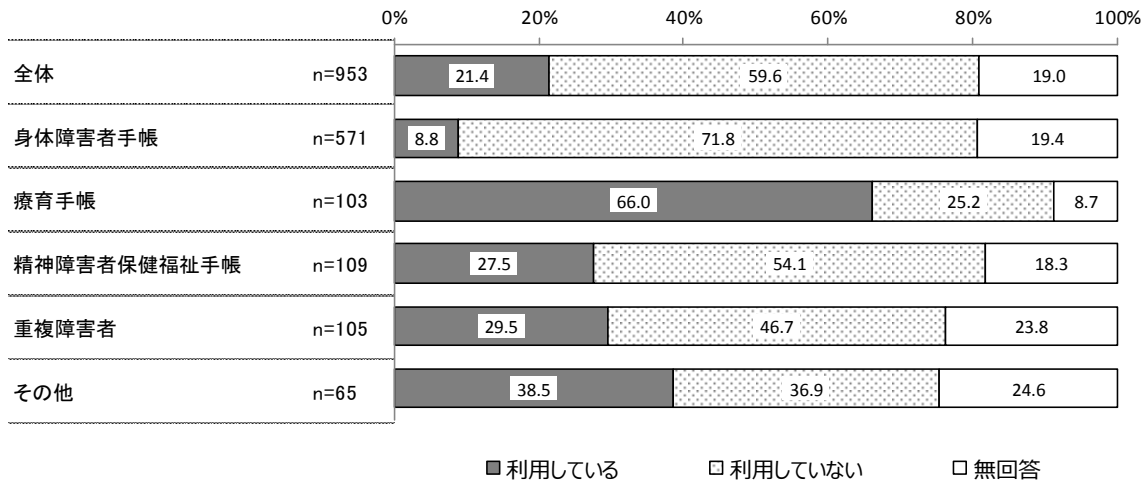
	調査数	問35 障がいのことや福祉サービスなどに関する情報の入手先														
		本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	行政機関の広報誌	インターネット	家族や親せき、友人・知人	サービス事業所の人や施設職員	障がい者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	民生委員・児童委員	通所施設や保育所、幼稚園、学校の先生	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	無回答	
調査数	953	29.1	24.8	17.7	28.4	13.5	3.7	20.5	12.0	0.9	4.0	3.1	5.2	3.5	12.0	
障害別	身体障害者手帳	571	34.7	30.8	16.8	26.8	9.5	2.6	20.7	13.8	1.2	1.1	0.5	4.4	3.3	11.0
	療育手帳	103	16.5	12.6	13.6	38.8	33.0	10.7	8.7	1.0	-	16.5	14.6	5.8	1.9	12.6
	精神障害者保健福祉手帳	109	22.9	20.2	34.9	23.9	14.7	-	35.8	12.8	-	1.8	2.8	9.2	4.6	7.3
	重複障害者	105	19.0	18.1	8.6	29.5	12.4	7.6	21.9	12.4	1.9	6.7	4.8	4.8	5.7	15.2
	その他	65	26.2	9.2	18.5	32.3	18.5	1.5	9.2	10.8	-	9.2	6.2	6.2	1.5	21.5

(6) 障害福祉サービス等の利用について

問 37 あなたは障害福祉サービス、地域生活支援事業又は障がい児向けサービスを利用していますか。(〇は1つだけ)

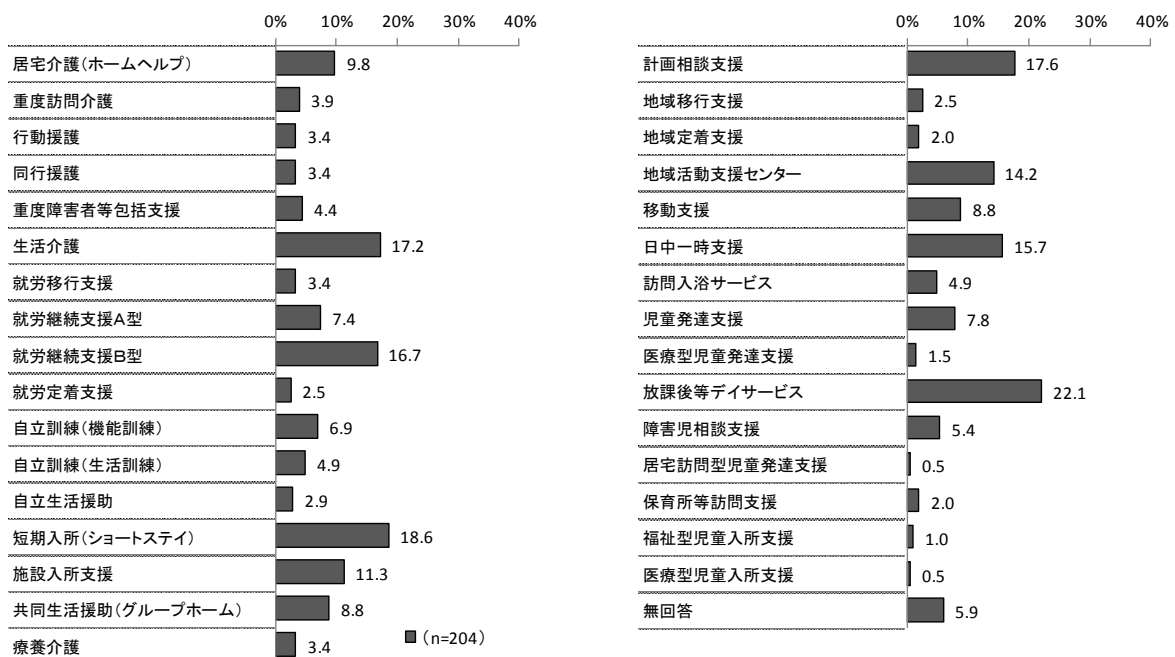
サービスの利用については、「利用している」が21.4%、「利用していない」が59.6%となっています。

障がい別で見ると、「利用している」人は、身体障害者手帳で8.8%、療育手帳で66.0%、精神障害者保健福祉手帳で27.5%、重複障害者で29.5%となっています。

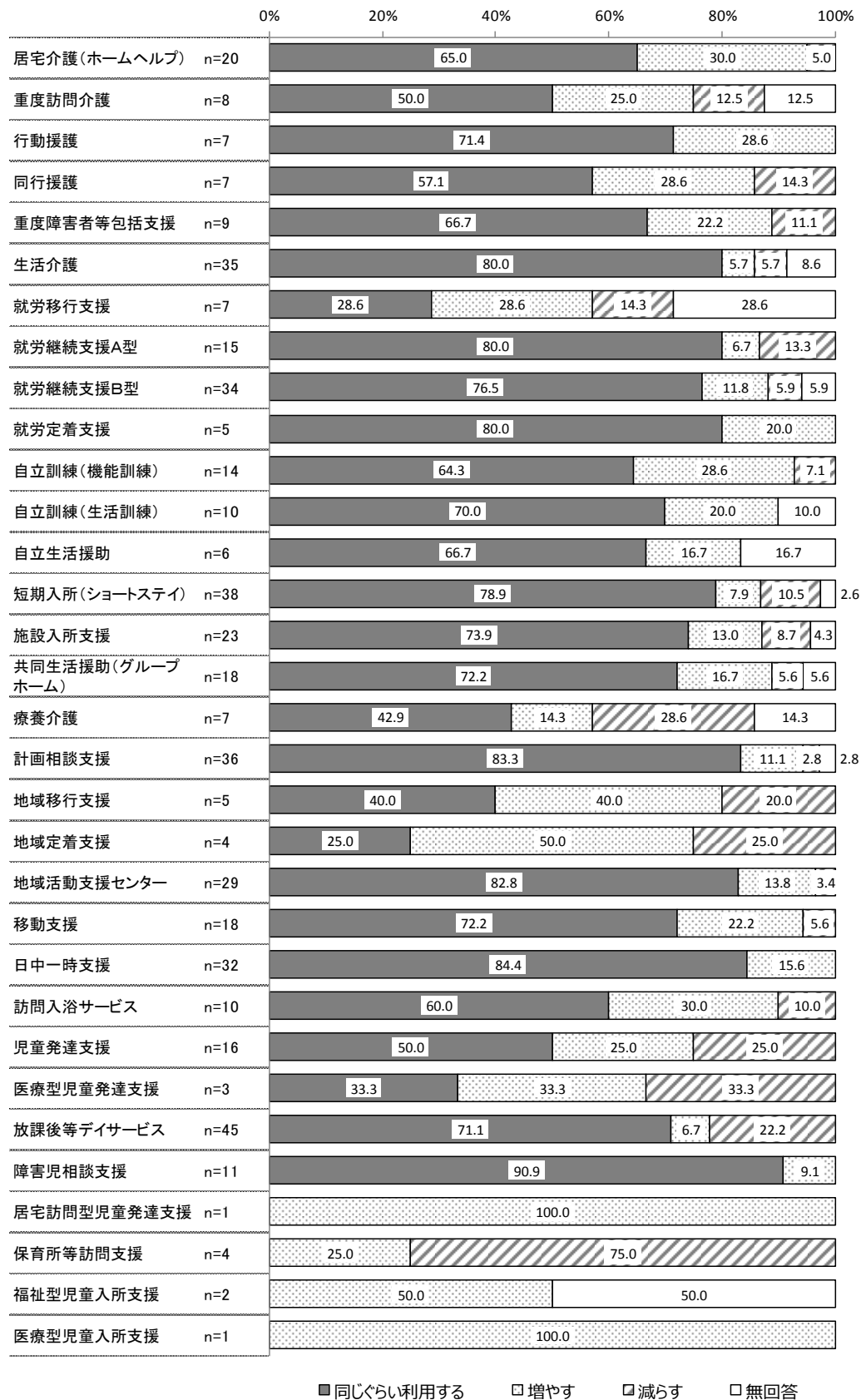


問 38 現在利用中のサービスについて①～⑳の番号を記入し、今後3年以内の利用予定について回答してください。(現在利用中のサービスはあてはまるものすべての番号を記入、今後3年以内の利用予定については〇は1つだけ)

現在、利用している障害福祉サービスについては、「放課後等デイサービス」が22.1%と最も多く、次いで「短期入所(ショートステイ)」が18.6%、「計画相談支援」が17.6%、「生活介護」が17.2%となっています。



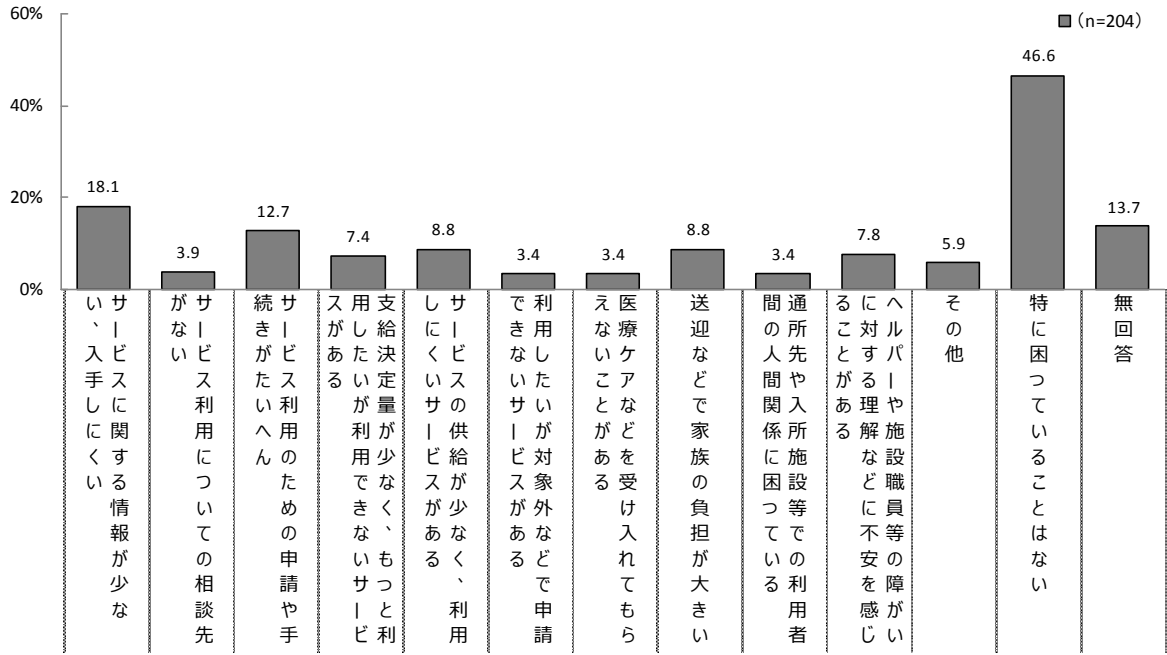
今後3年以内の利用予定又は利用意向については、「生活介護」「就労継続支援A型」「就労定着支援」「計画相談支援」「地域活動支援センター」「日中一時支援」「障害児相談支援」などでは「同じくらい利用する」が8割を超えています。



問39 サービスの利用で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービスの利用で困っていることについては、「特に困っていることはない」が 46.6%と最も多くなっています。困っている人では、「サービスに関する情報が少ない、入手しにくい」が 18.1%と最も多く、次いで「サービス利用のための申請や手続きがたいへん」が 12.7%となっています。

障がい別でみると、困っている人は、身体障害者手帳や療育手帳、重複障害者では「サービスに関する情報が少ない、入手しにくい」、精神障害者保健福祉手帳では「サービス利用のための申請や手続きがたいへん」があげられています。



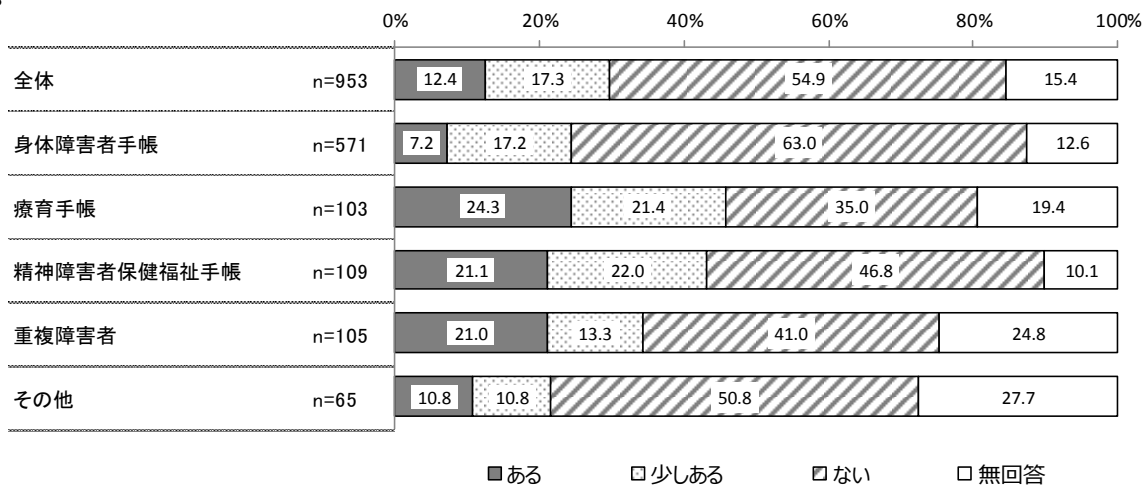
	調査数	問39 サービスの利用で困っていること													
		サービスに関する情報が少ない、入手しにくい	サービス利用についての相談先がない	サービス利用のための申請や手続きがたいへん	支給決定量が少なく、もつと利用したいが利用できないサービスがある	サービスの供給が少なく、利用しにくいサービスがある	利用したいが対象外などで申請できないサービスがある	医療的ケアなどを受け入れてもらえないことがある	送迎などで家族の負担が大きい	通所先や入所施設等での利用者間の人間関係に困っている	ヘルパーや施設職員等の障がいに対する理解などに不安を感じることがある	その他	特に困っていることはない	無回答	
調査数	204	18.1	3.9	12.7	7.4	8.8	3.4	3.4	8.8	3.4	7.8	5.9	46.6	13.7	
障 害 別	身体障害者手帳	50	16.0	-	12.0	12.0	4.0	4.0	4.0	12.0	2.0	6.0	6.0	44.0	20.0
	療育手帳	68	19.1	5.9	10.3	4.4	8.8	4.4	4.4	8.8	1.5	7.4	4.4	45.6	10.3
	精神障害者保健福祉手帳	30	16.7	3.3	20.0	6.7	10.0	-	-	-	10.0	-	-	60.0	6.7
	重複障害者	31	29.0	6.5	19.4	12.9	19.4	6.5	6.5	16.1	3.2	19.4	9.7	32.3	16.1
	その他	25	8.0	4.0	4.0	-	4.0	-	-	4.0	4.0	8.0	12.0	56.0	16.0

(7) 権利擁護・障がい者差別解消について

問 44 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つだけ）

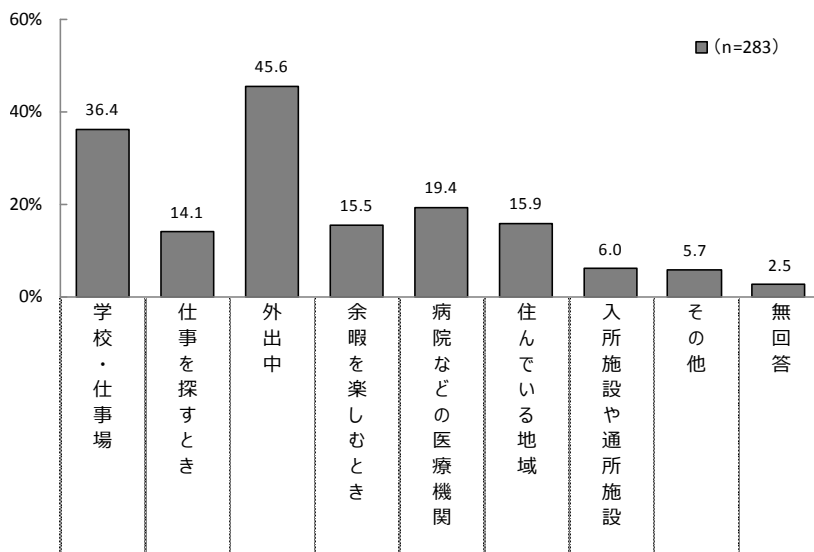
障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがあるかについては、「ない」が 54.9%と最も多くなっています。一方で、「ある」は 12.4%、「少しある」は 17.3%となっており、これらを合わせた、“差別や嫌な思いをしたことがある人”が約 3 割（29.7%）を占めています。

障がい別でみると、“差別や嫌な思いをしたことがある人”は、身体障害者手帳では 24.4%にとどまっているものの、療育手帳では 45.7%、精神障害者保健福祉手帳では 43.1%、重複障害者では 34.3%となっています。



問 45 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまるものすべてに○）

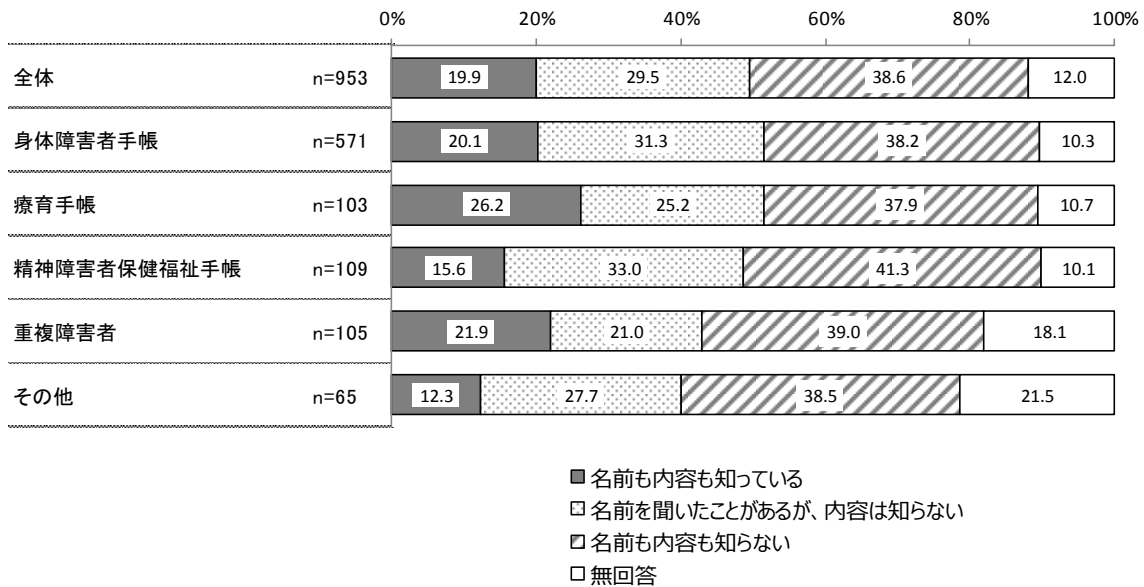
差別や嫌な思いをした場所については、「外出中」が 45.6%と最も多く、次いで「学校・仕事場」が 36.4%、「病院等の医療機関」が 19.4%となっています。



問 46 成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

成年後見制度の認知度については、「名前も内容も知らない」が 38.6%と最も多くなっています。一方で、「名前も内容も知っている」は 19.9%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」は 29.5%となっており、これらを合わせた認知度は約 5 割（49.4%）となっています。

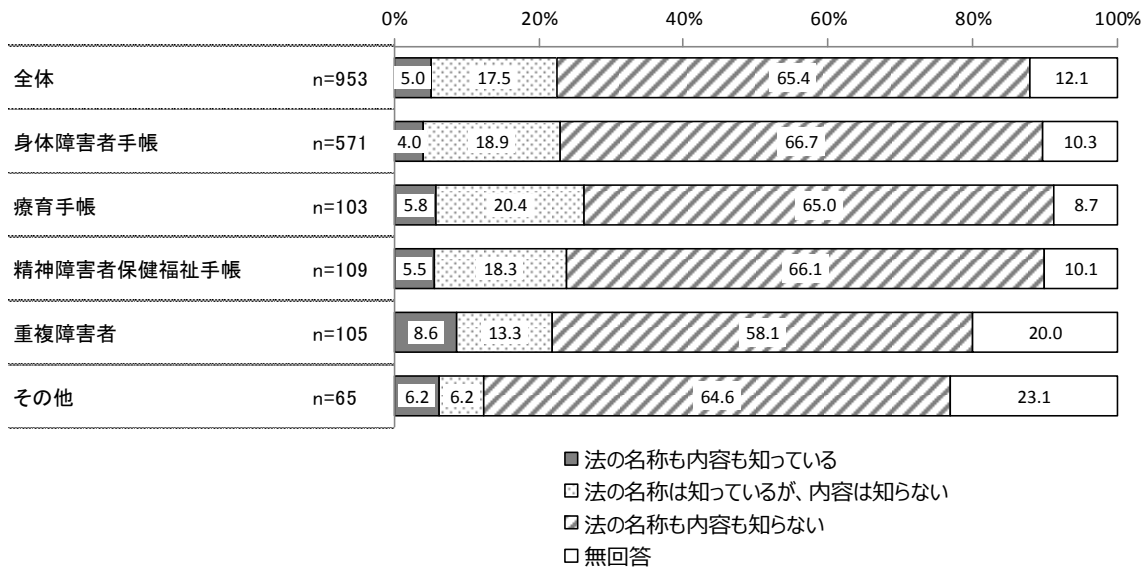
障がい別でみると、成年後見制度の認知度は、身体障害者手帳では 51.4%、療育手帳では 51.4%、精神障害者保健福祉手帳では 48.6%、重複障害者では 42.9%となっています。



問 47 あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。(○は1つだけ)

障害者差別解消法の認知度については、「法の名称も名前も知らない」が 64.6%と最も多くなっています。一方で、「法の名称も内容も知っている」は 5.0%、「法の名称は知っているが、内容は知らない」は 17.5%となっており、これらを合わせた認知度は約 2 割（22.5%）となっています。

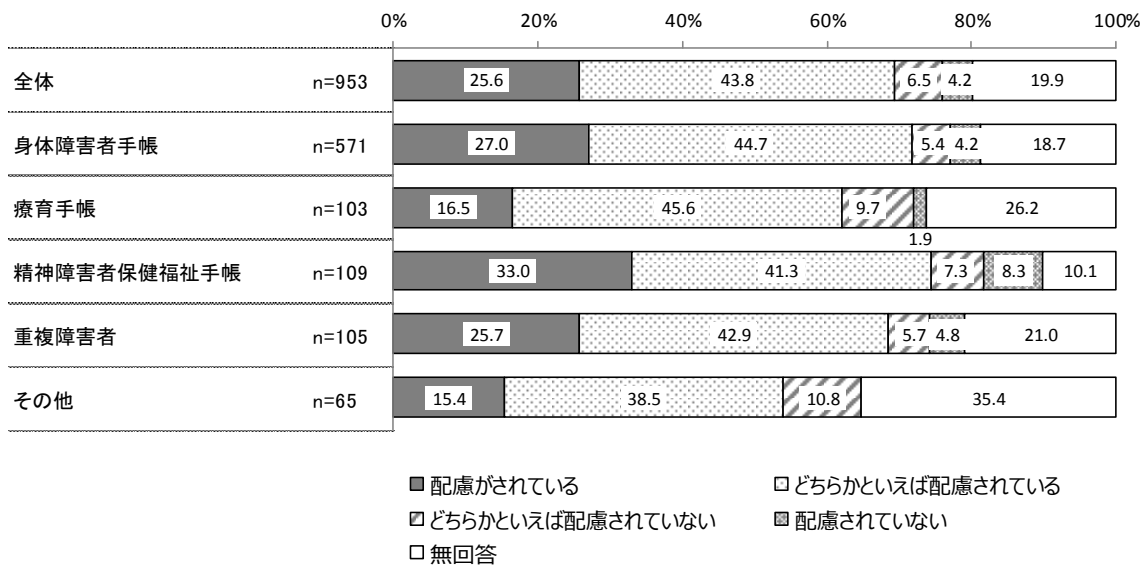
障がい別でみると、成年後見制度の認知度は、身体障害者手帳では 22.9%、療育手帳では 26.2%、精神障害者保健福祉手帳では 23.8%、重複障害者では 21.9%となっています。



問 48 あなたは、あま市役所（市の公共施設等）の窓口等での対応について障がい者に対する配慮がされていると思いますか。（○は1つだけ）

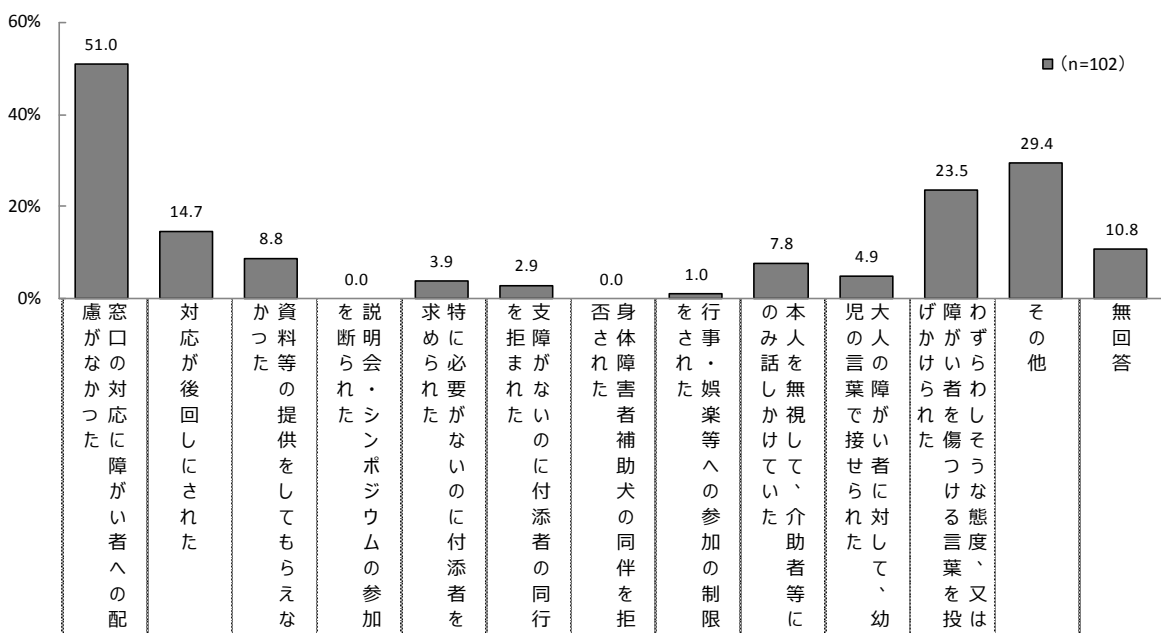
あま市役所（市の公共施設等）の窓口等での対応が障がい者に対する配慮がされているかについては、「どちらかといえば配慮されている」が43.8%と最も多く、次いで「配慮がされている」が25.6%となっており、これらを合わせた、「配慮がされていると感じている人」が約7割（69.4%）を占めています。

障がい別でみると、「配慮がされていると感じている人」は、身体障害者手帳では71.7%、療育手帳では62.1%、精神障害者保健福祉手帳では74.3%、重複障害者では68.6%となっています。



問 49 どのような場面で感じましたか。（あてはまるものすべてに○）

配慮されていないと感じた場面については、「窓口の対応に障がい者への配慮がなかった」が51.0%と最も多く、次いで「わずらわしそうな態度、又は障がい者を傷つける言葉を投げかけられた」が23.5%となっています。

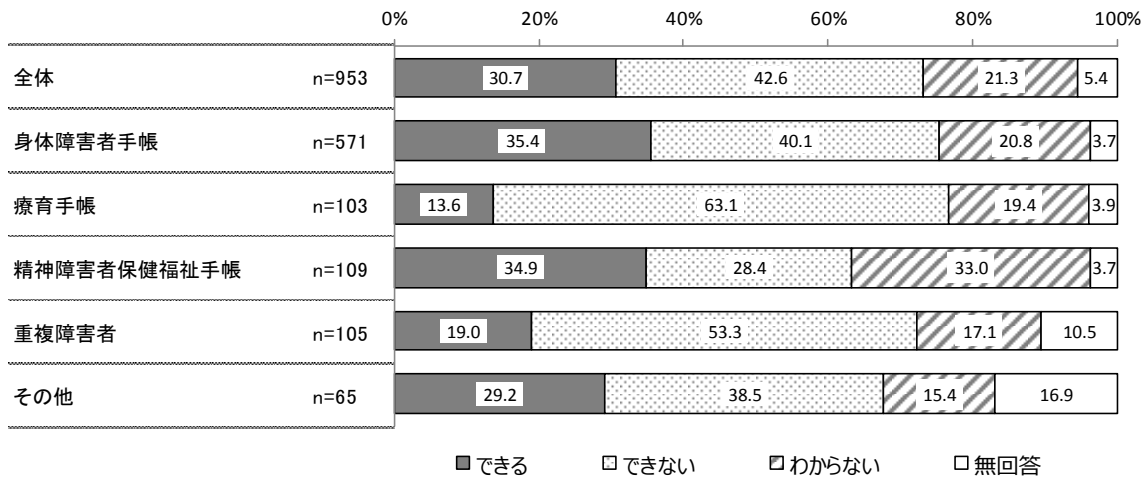


(8) 災害時の避難等について

問 50 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

災害時における一人での避難については、「できる」が30.7%、「できない」が42.6%となっています。

障がい別で見ると、ひとりで避難できる人は、身体障害者手帳では35.4%、療育手帳では13.6%、精神障害者保健福祉手帳では34.9%、重複障害者では19.0%となっています。一方、ひとりで避難できない人は療育手帳や重複障害者では5割を超えています。

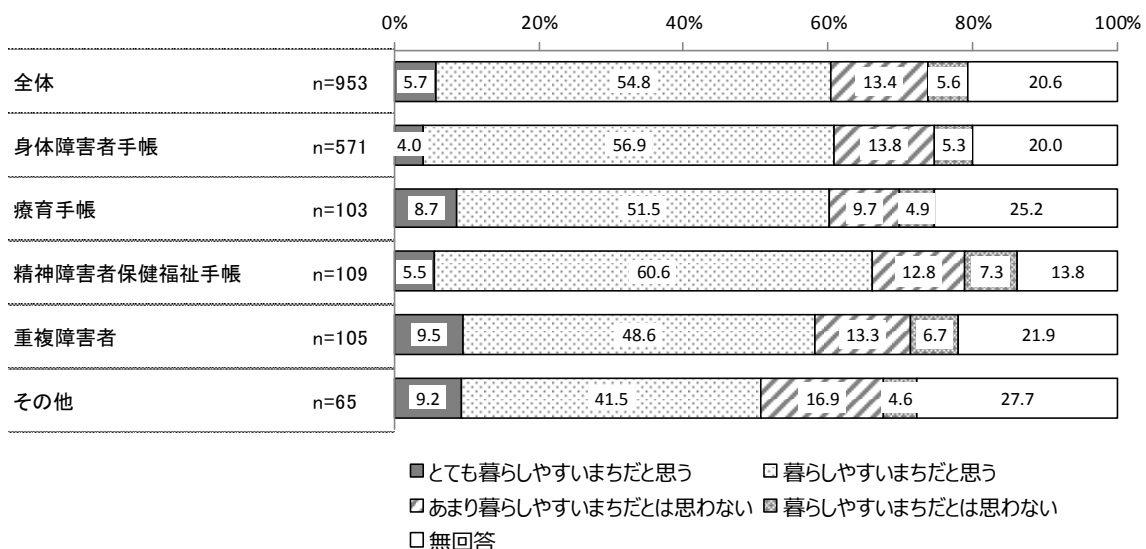


(9) 暮らしやすさや将来の生活について

問 54 あなたは、あま市は障がい者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

障がい者にとってあま市の暮らしやすさについては、「暮らしやすいまちだと思う」が54.8%と最も多く、これに「とても暮らしやすいまちだと思う」(5.7%)を合わせた「暮らしやすいと感じている人」が6割(60.5%)を占めています。

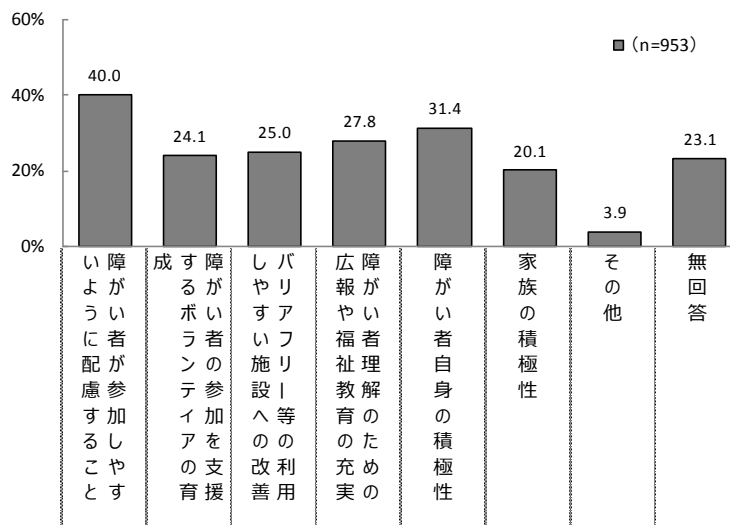
障がい別で見ると、「暮らしやすいと感じている人」は身体障害者手帳では60.9%、療育手帳では60.2%、精神障害者保健福祉手帳では66.1%、重複障害者では58.1%となっています。



問 55 障がい者が地域や社会に積極的に参加していくためには、どのようなことが大切だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

障がい者が地域や社会に積極的に参加していくためには、どのようなことが大切かたずねたところ、「障がい者が参加しやすいように配慮すること」が 40.0%と最も多く、次いで「障がい者自身の積極性」が 31.4%、「障がい者理解のための広報や福祉教育の充実」が 27.8%、「バリアフリー等の利用しやすい施設への改善」が 25.0%、「障がい者の参加を支援するボランティアの育成」が 24.1%となっています。

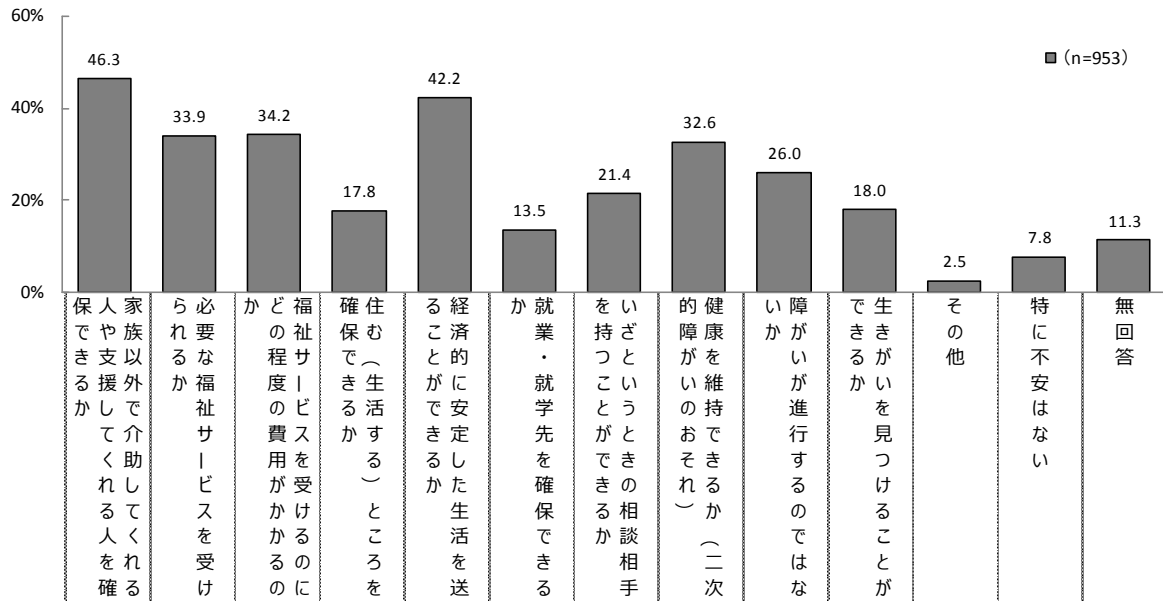
障がい別でみると、いずれの障がいにおいても「障がい者が参加しやすいように配慮すること」があげられています。次いで身体障害者手帳では「障がい者自身の積極性」、療育手帳、精神保健福祉手帳では「障がい者理解のための広報や福祉教育の充実」、重複障害者では「家族の積極性」があげられています。



	調査数	問55 障がい者が地域や社会に積極的に参加していくために必要なこと								
		障がい者が参加しやすいように配慮すること	障がい者の参加を支援するボランティアの育成	バリアフリー等の利用しやすい施設への改善	障がい者理解のための広報や福祉教育の充実	障がい者自身の積極性	家族の積極性	その他	無回答	
調査数	953	40.0	24.1	25.0	27.8	31.4	20.1	3.9	23.1	
障害別	身体障害者手帳	571	38.0	21.7	29.2	22.4	33.8	16.6	3.7	23.6
	療育手帳	103	56.3	41.7	15.5	46.6	31.1	31.1	1.9	14.6
	精神障害者保健福祉手帳	109	45.0	20.2	17.4	36.7	35.8	15.6	6.4	18.3
	重複障害者	105	33.3	26.7	22.9	26.7	17.1	32.4	5.7	25.7
	その他	65	33.8	20.0	18.5	32.3	26.2	21.5	1.5	35.4

問56 将来の生活に対する不安についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

将来の生活に対する不安についてたずねたところ、「家族以外で介助してくれる人や支援してくれる人を確保できるか」が46.3%と最も多く、次いで「経済的に安定した生活を送ることができるか」が42.2%、「福祉サービスを受けるのにどの程度の費用がかかるのか」が34.2%、「必要な福祉サービスを受けられるか」が33.9%、「健康を維持できるか(二次的障がいのおそれ)」が32.6%となっています。

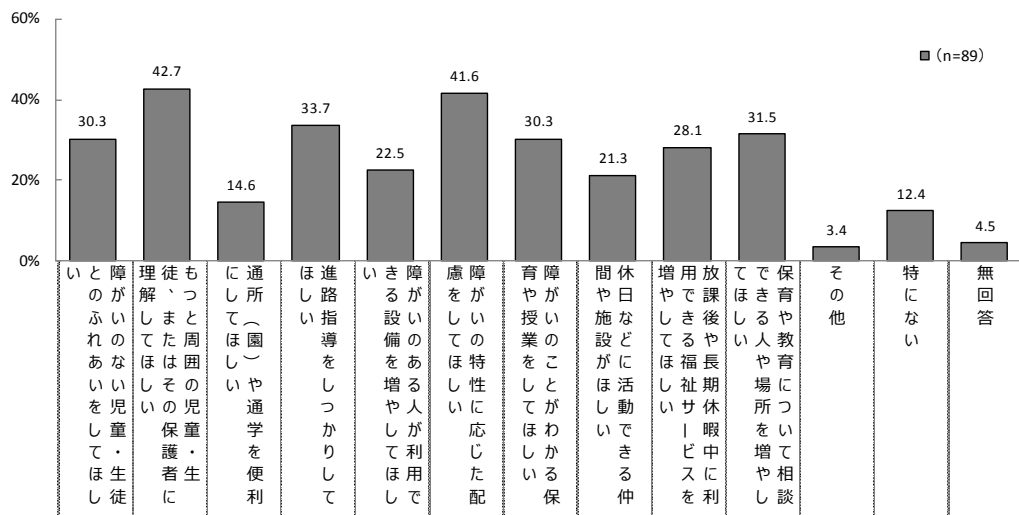


(10) 教育について

問58 あなたは、保育や教育について今後、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

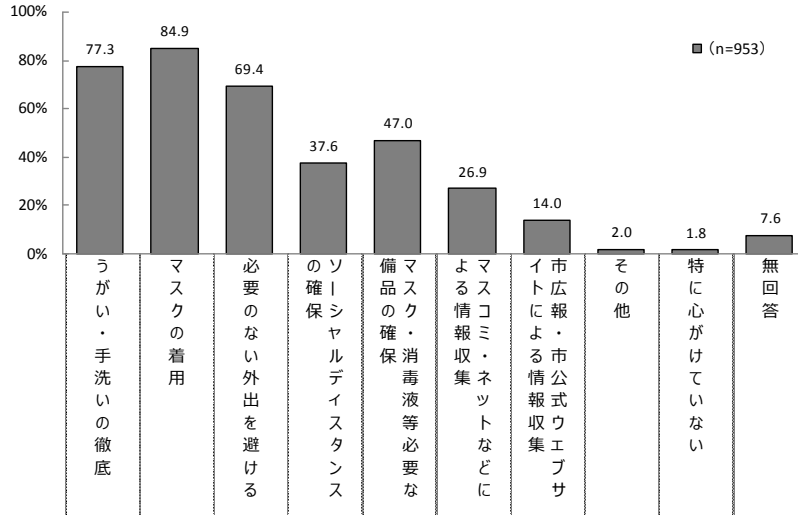
保育や教育について今後必要だと思うことについては、「もっと周囲の児童・生徒、またはその保護者に理解してほしい」が42.7%と最も多く、次いで「障がいの特性に応じた配慮をしてほしい」が41.6%、「進路指導をしっかりしてほしい」が33.7%、「保育や教育について相談できる人や場所を増やしてほしい」が31.5%となっています。



(11) 新型コロナウイルス感染症について

問 63 新型コロナウイルス感染症の感染防止に関して、あなたが心がけていることはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

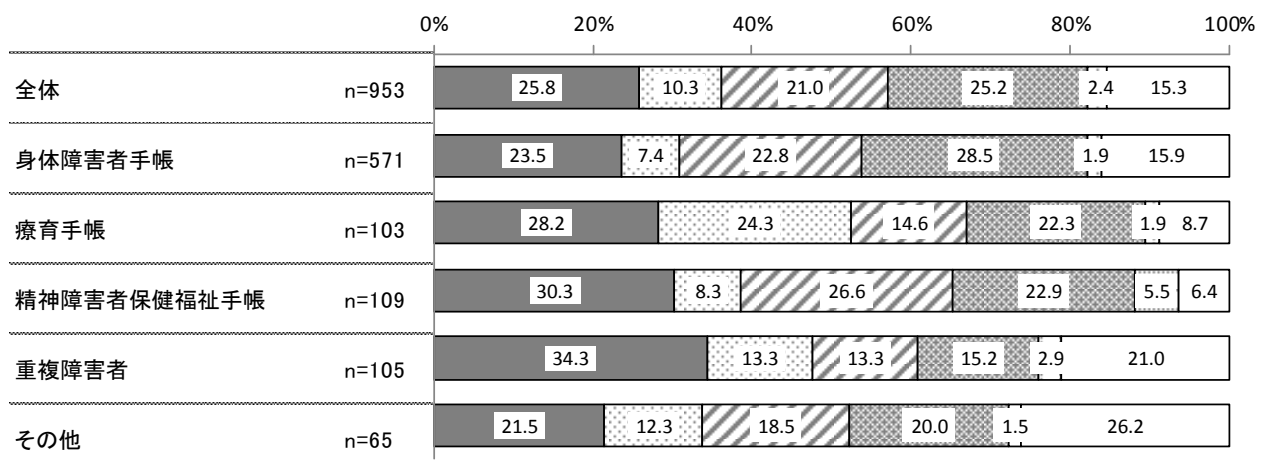
新型コロナウイルス感染症の感染防止に関して心がけていることについては、「マスクの着用」が 84.9%と最も多く、次いで「うがい・手洗いの徹底」が 77.3%、「必要のない外出を避ける」が 69.4%となっています。



問 63 あなたは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応として、どのような政策が最も重要だと思いますか。（〇は1つだけ）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応として重要な政策については、「障がい者への経済的な支援」が25.8%と最も多く、次いで「感染状況の公表等、適切な情報提供」が25.2%、「市内施設の消毒等、感染防止の徹底」が21.0%となっています。

障がい別でみると、身体障害者手帳では「感染状況の公表等、適切な情報提供」が28.5%と最も多くなっています。その他の障がい種別では「障がい者への経済的な支援」が最も多くなっています。

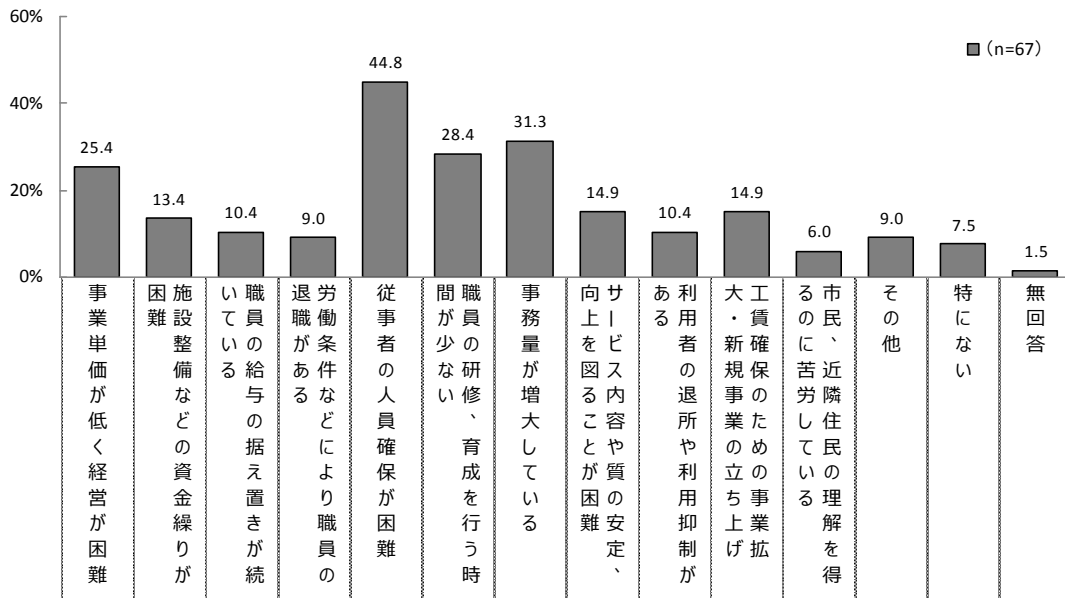


- 障がい者への経済的な支援
- 障害福祉サービス事業所の運営に対する助成
- 市内施設の消毒等、感染防止の徹底
- 感染状況の公表等、適切な情報提供
- その他
- 無回答

2 サービス事業者調査

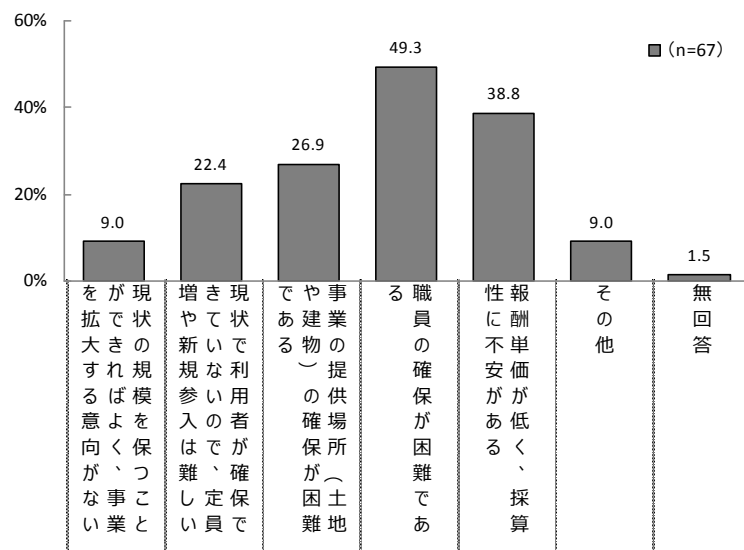
問2 経営上の課題についてご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

経営上の課題については、「従事者の人員確保が困難」が44.8%と最も多く、次いで「事務量が增大している」が31.3%、「職員の研修、育成を行う時間が少ない」が28.4%となっています。



問6 多くの障害福祉サービスでは、あまり受入の増加が進んでいないのが現状です。それらの定員増員や新規参入が進まない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

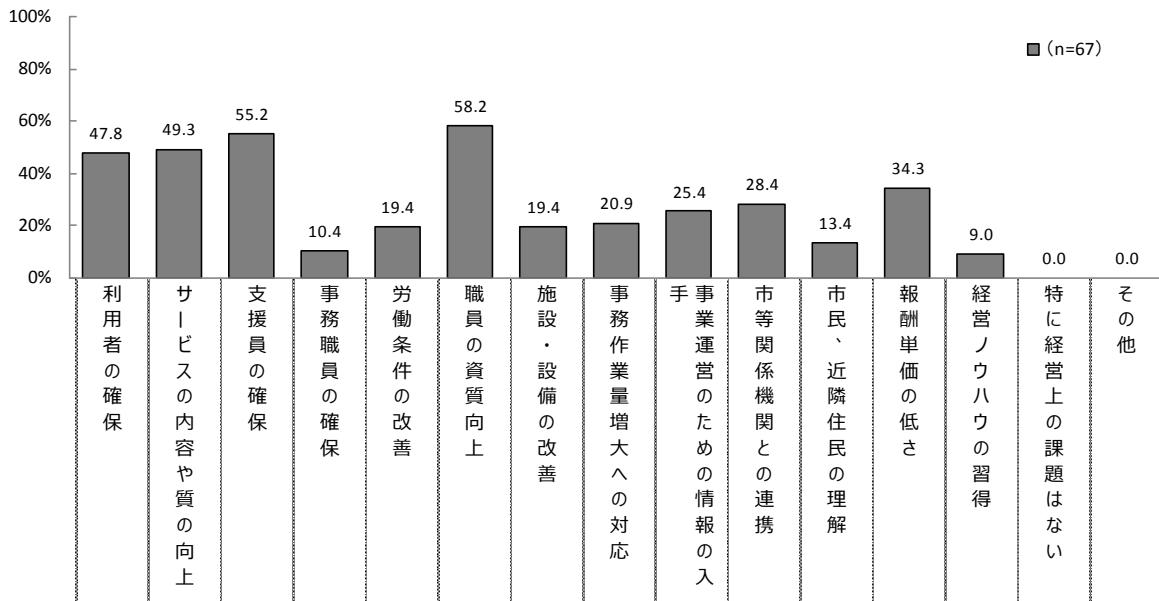
定員増員や新規参入が進まない理由については、「職員の確保が困難である」が49.3%と最も多く、次いで「報酬単価が低く、採算性に不安がある」が38.8%、「事業の提供場所（土地や建物）の確保が困難である」が26.9%となっています。



問7 円滑な事業運営のために、改善したい経営上の課題は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

円滑な事業運営のために、改善したい経営上の課題については、「職員の資質向上」が58.2%と最も多く、次いで「支援員の確保」が55.2%、「サービスの内容や質の向上」が49.3%、「利用者の確保」が47.8%となっています。



問8 今後の事業運営にあたって行政等の関係機関のどのような支援が必要でしょうか。(あてはまるものすべてに○)

行政等の関係機関の支援については、「行政との情報共有」が55.2%と最も多く、次いで「財政面での支援」「職員の研修、職業訓練への支援」が47.8%となっています。

